

表 6.1.4-3(4) 注目すべき植物種

No.	分類	科名	種名	文献			重要種選定根拠							
				①	②	③	仙台市における 保全上重要な種		レッドデータブック等					
							学術上重要な種	減少種 山地地域	西部丘陵地・田園地域	環境指標種	環境省 R	宮城県 RDB	文化財保護法	種の保存法
129	離弁花類	ユキノシタ	ダイヤモンドソウ		○	○		・	・	○				
130			エソククロクモソウ			○	1	・	・					
131			ユキノシタ		○	○		・	B					
132	バラ	チョウセンキンミズヒキ			○					VU	NT			
133		ザイフリボク		○	○	1	・	B						
134		クサボケ			○							CR+EN		
135		ヤマブキ				○		・	C	○				
136		イワキンバイ			○	○		・	・	○				
137		エチゴキジムシロ			○	○		B	B			YO		
138		ミヤマザクラ				○		A	・			CR+EN		
139		カスミザクラ			○	○		・	C	○				
140		ミチノクナシ				○					EN	NT		
141		オオタカネイバラ				○	1	・	・					
142		サナギイチゴ				○		・	B		VU	YO		
143		ミヤマウラジロイチゴ				○	1	・	・			CR+EN		
144		マメ	ノアズキ			○							CR+EN	
145			ツクシハギ		○	○		・	B	○				
146	イヌハギ				○	○	1	・	・		VU	NT		
147	マキエハギ				○	○	1	・	・			NT		
148	オオバタンキリマメ					○		・	C			NT		
149	フウソウ	コフウロ			○	○	1	・	・					
150	ユズリハ	ユズリハ				○	1,2	・	C					
151	ミカン	ミヤマシキミ				○	1	・	C					
152	カエデ	ハウチワカエデ			○	○		・	C					
153		イタヤカエデ				○		・	C					
154		メグスリノキ			○	○	1	・	B					
155		ヤマモミジ			○	○		・	B	○				
156		ウリハダカエデ			○	○		・	C					
157	トチノキ	トチノキ			○	○		C	C					
158	モチノキ	イヌツゲ			○	○		・	C					
159		オクノフウリンウメモドキ				○						VU		
160		モチノキ				○						YO		
161		ソヨゴ			○	○	1,2	・	C			NT		
162	クロウメモドキ	ホナガクマヤナギ				○						VU		
163	シナノキ	カラスノゴマ			○	○	1	・	A					
164	ジンチョウゲ	ナニワズ				○						CR+EN		
165	スマレ	エゾノタチツボスミレ				○						NT		
166		サクラスマレ			○	○	1	・	B					
167		フモトスマレ				○	○	1	・	B			VU	
168		ナガハシスマレ			○	○	1	・	B					
169		ヒゴスマレ				○		A	・				CR+EN	
170	ミソハギ	ミズマツバ		○	○	○	1	・	・		VU	VU		
171	ヒシ	ヒメヒシ				○		・	A		VU	CR+EN		
172		ヒシ			○	○		・	B	○				
173	アカバナ	ヤナギラン				○		・	A			CR+EN		
174		カラフトアカバナ				○						NT		
175	アリノトウグサ	タチモ			○	○	1	・	・		NT	VU		
176	ミズキ	アオキ			○	○		・	C	○				
177	ウコギ	コシアブラ			○	○		C	C					

表 6.1.4-3(5) 注目すべき植物種

No.	分類	科名	種名	文献			重要種選定根拠									
				①	②	③	仙台市における 保全上重要な種			レッドデータブック等						
							学術上重要な種	減少種 山地地域	西部丘陵地・田園地域	環境指標種	環境省 R	宮城県 RDB	文化財保護法	種の保存法		
178	離弁花類	セリ	ハナビゼリ		○	○	1	・	・				NT			
179			ミシマサイコ		○	○	1	・	B		VU	CR+EN				
180			オオカサモチ			○	○	1	・	・			NT			
181			イワセントウソウ				○	○	1	・	・					
182			タニミツバ				○	○	1	・	C			VU		
183			サワゼリ				○	○	1	・	・					
184	合弁花類	イワウメ	コイワウチワ		○	○	1,4	C	C	○						
185		イチャクソウ	ウメガサソウ		○	○		・	C	※						
186			ベニバナイチャクソウ		○	○	1	・	・							
187		ツツジ	ヤマツツジ		○	○		・	C	○						
188			シロヤシオ		○	○		C	C	○						
189			トウゴクミツバツツジ		○	○	2	・	B							
190			ナツハゼ		○	○		・	C							
191		ヤブコウジ	ヤブコウジ		○	○		・	・	○						
192		サクラソウ	クリンソウ		○	○	1	B	B			VU				
193			サクラソウ		○	○	1	・	A	○	NT	CR+EN				
194		エゴノキ	オオバアサガラ		○	○	1	・	A							
195		モクセイ	イボタノキ		○	○		・	B	○						
196		マチン	ヒメナエ			○					VU	CR+EN				
197		リンドウ	ホソバツルリンドウ		○	○	1	・	C		VU	VU				
198			イヌセンブリ		○	○	1	・	・		VU	VU				
199		ミツガシワ	アサザ		○	○					NT	VU				
200		ガガイモ	フナバラソウ		○	○	1	・	・		VU	VU				
201			タチガシワ		○	○	1	・	・							
202			スズサイコ		○	○	1	・	A		NT	VU				
203			コカモメヅル			○	○	1	・	・						
204		アカネ	オオキヌタソウ			○		C	・			NT				
205		ムラサキ	サワリソウ			○							CR+EN			
206			ムラサキ		○	○	1	A	A		EN	CR+EN				
207			ルリソウ		○	○		・	C			NT				
208		クマツヅラ	カリガネソウ			○							CR+EN			
209			クマツヅラ		○			・	B			VU				
210	ハマゴウ				○							EX				
211	シソ	ヒロハヤマトウバナ		○	○	1	・	・								
212		フトボナギナタコウジュ		○	○	1,2	・	・								
213		キセウタ		○						VU	VU					
214		シラゲヒメジソ			○	○	1	・	・			YO				
215		タテヤマウツボグサ		○	○	1	・	・								
216		タイリンヤマハッカ		○	○		・	C				NT				
217		イガタツナミソウ			○							NT				
218		エゾニガクサ		○	○	1	・	・		EN	CR+EN					
219		ナス	ヤマホロシ			○						VU				
220	ゴマノハグサ	マルバサワトウガラシ		○	○		・	B		VU	VU					
221		アブノメ		○	○		・	B			VU					
222		オオアブノメ			○	○	1	・	・		VU	YO				
223		スズメノトウガラシ			○	○						NT				
224		サギゴケ		○	○		・	C	○							
225		ヒヨクソウ		○	○		C	・				NT				
226		カワヂシャ			○	○	1	・	・		NT	NT				

表 6.1.4-3(6) 注目すべき植物種

No.	分類	科名	種名	文献			重要種選定根拠										
				①	②	③	仙台市における 保全上重要な種			レッドデータブック等							
							学術上重要な種	減少種 山地地域	西部丘陵地・田園地域	環境指標種	環境省 R	宮城県 RDB	文化財保護法	種の保存法			
227	合弁花類	ハマウツボ	オオナンバンギセル			○	1	B	B								
228		タヌキモ	ムシトリスミレ			○	1	・	・								
229			ホザキノミミカキグサ			○						CR+EN					
230			ヒメタヌキモ		○	○	1	・	A		NT	CR+EN					
231			イヌタヌキモ		○	○	1	・	B		NT	VU					
232			ムラサキミミカキグサ		○	○	1	・	A		NT	NT					
233			オオバコ	オオバコ		○	○		・	・	○						
234			スイカズラ	ニッコウヒョウタンボク			○	1,2	・	・			YO				
235				オオカメノキ		○	○		・	・	○						
236			レンブクソウ	レンブクソウ			○	1	・	・			NT				
237			オミナエシ	オミナエシ		○	○		・	B	○						
238			マツムシソウ	マツムシソウ		○	○	1	A	A							
239			キキョウ	モイワシャジン			○						YO				
240				シデシャジン			○	1	・	・							
241				キキョウ		○	○	1	・	B	○	VU	VU				
242			キク	オクモミジハグマ		○	○		・	C	○						
243				キッコウハグマ		○	○		・	B	○						
244				シオン		○						VU					
245				オケラ		○	○		・	B	○						
246				エゾノタウコギ		○	○		B	B			VU				
247				モリアザミ		○	○						NT				
248				リクゼニアザミ			○						NT				
249				アワコガネギク		○	○		・	C		NT					
250				アズマギク		○	○	1	・	B	○		VU				
251				アキノハハコグサ			○					EN	VU				
252				タカサゴソウ		○	○		B	・		VU	VU				
253			カシワバハグマ			○		・	B			VU					
254			コウヤボウキ			○						CR+EN					
255			オオニガナ		○	○	1	・	C			NT					
256			シュウブソウ			○	1,2	・	・								
257			ミヤコアザミ			○	1	・	A			CR+EN					
258			ヒメヒゴタイ			○	1	・	・		VU	CR+EN					
259			アキノキリンソウ		○	○		・	C	○							
260			エゾタンポポ		○	○		・	C	○							
261	単子葉植物	オモダカ	ヘラオモダカ		○	○		・	C	○							
262				サジオモダカ			○		・	C	○		NT				
263				アギナシ		○	○		・	C	○	NT	VU				
264				ウリカワ			○		・	C	○						
265				オモダカ		○	○		・	C	○						
266				ホソバオモダカ			○		・	C	○						
267			トチカガミ	ヤナギスブタ		○							VU				
268				クロモ		○	○		・	B	○						
269				ミズオオバコ		○		1	・	B		VU	NT				
270			ホルムイソウ	シバナ			○					NT	CR+EN				
271			ヒルムシロ	エビモ		○	○		・	B	○						
272				コバノヒルムシロ		○	○		・	C	○	VU	VU				
273				ヒルムシロ		○	○		・	C	○						
274				フトヒルムシロ		○	○		・	C	○						
275				オオミズヒキモ			○		・	C	○						

表 6.1.4-3(7) 注目すべき植物種

No.	分類	科名	種名	文献			重要種選定根拠								
				①	②	③	仙台市における 保全上重要な種			レッドデータブック等					
							学術上重要な種	減少種 山地地域	西部丘陵地・田園地域	環境指標種	環境省 R	宮城県 RDB	文化財保護法	種の保存法	
276	単子葉植物	ヒルムシロ	センニンモ			○		・	C	○		VU			
277			オヒルムシロ		○	○		・	C	○					
278			ホソバミズヒキモ		○	○		・	C	○		VU			
279			イトモ		○	○	1	・	C		NT	YO			
280	イバラモ	イバラモ	ホッサモ		○	○		B	・			VU			
281			イトトリゲモ			○	1	・	B		NT	NT			
282			トリゲモ			○	1	・	B		VU	CR+EN			
283			オオトリゲモ			○	1	・	B			CR+EN			
284			ツツイトモ			○					VU	CR+EN			
285			リュウノヒゲモ			○					NT	CR+EN			
286			ホンゴウソウ	ホンゴウソウ		○						VU	CR+EN		
287	ユリ	ユリ	ギョウジャニンニク			○						CR+EN			
288			カタクリ		○	○		・	B						
289			シヨウジョウバカマ		○	○		・	B	○					
290			ニッコウキスゲ			○		・	B						
291			コオニユリ		○	○		・	B						
292			ヤマスカシユリ			○	1	B	・		NT	CR+EN			
293			ヒメヤブラン		○	○		・	C	※					
294			オオバジャノヒゲ		○	○		・	B						
295			クルマバツクバネソウ			○						VU			
296			ユキザサ			○	○		・	C	○				
297			マルバサンキライ		○			・	A			CR+EN			
298			キンバイザサ	キンバイザサ		○		1, 2	EX	EX			EX		
299			ミズアオイ	ミズアオイ	ミズアオイ			○		・	・	○	NT		
300	コナギ				○	○		・	・	○					
301	アヤメ	アヤメ	ヒオウギ			○	1	・	・			CR+EN			
302			ノハナショウブ		○	○	1	・	C	○					
303			ヒメシャガ		○	○		・	B	○	NT	NT			
304			カキツバタ		○	○	1	・	B		NT	VU			
305	ツユクサ	ヤブミョウガ		○			・	A			CR+EN				
306	ホシクサ	ホシクサ		○	○	1	・	・			YO				
307	イネ	イネ	ヒメコスカグサ		○						NT				
308			ヤマアワ		○	○		・	B						
309			メヒシバ		○	○		・	・	○					
310			カゼクサ		○	○		・	B	○					
311			オオウシノケグサ		○	○	4	・	B	※					
312			ウキガヤ		○			・	・			NT			
313			オギ			○		・	C	○					
314			ヨシ		○	○		・	C	○					
315			ツルヨシ			○		・	C	○					
316			アキウネマガリ		○	○	1	・	・			CR+EN			
317			オオクマザサ			○	3	・	・						
318			スエコザサ			○	3	・	・						
319			スズタケ			○		・	C	○					
320			マコモ			○		・	B	○					
321			シバ			○	○		・	B	○				
322			サトイモ	サトイモ	ヒメカイウ		○	○	1	・	・		NT	CR+EN	
323	ミズバショウ					○		・	B	○					
324	ヒメザゼンソウ					○	○		・	B					

表 6.1.4-3(8) 注目すべき植物種

No.	分類	科名	種名	文献			重要種選定根拠									
				①	②	③	仙台市における 保全上重要な種			レッドデータブック等						
							学術上重要な種	減少種 山地地域	西部丘陵地・田園地域	環境指標種	環境省 R	宮城県 RDB	文化財保護法	種の保存法		
325	単子葉植物	ミクリ	ミクリ		○	○	1	・	B	○	NT	NT				
326			ヤマトミクリ		○	○	1	・	A		NT	CR+EN				
327			タマミクリ			○	1	A	・		NT	CR+EN				
328			ナガエミクリ		○	○	1	・	A		NT	NT				
329			オオミクリ			○					VU	CR+EN				
330			ガマ	ヒメガマ		○	○		・	C						
331		ガマ				○		・	C	○						
332		カヤツリグサ	ジョウロウスゲ			○					VU	CR+EN				
333			ハコネイトスゲ		○	○		・	A			CR+EN				
334			サナギスゲ			○		・	A			CR+EN				
335			ヤマクボスゲ		○	○	○	1	・	・		NT	VU			
336			タチスゲ		○	○	○	1	・	・			CR+EN			
337			ノゲヌカスゲ			○							YO			
338			タヌキラン			○	○		・	・	○					
339			マメスゲ		○	○		1	・	・			CR+EN			
340			オオカサスゲ			○	○			B	B					
341			センダイスゲ				○	4	・	・						
342			オニナルコスゲ			○	○			C	・		NT			
343			ニイガタガヤツリ			○	○					CR	YO			
344			チシママツバイ				○					VU	CR+EN			
345			サギスゲ			○	○			C	C		NT			
346			ミチノクホタルイ			○	○						VU			
347			フトイ			○	○		・	B						
348			カンガレイ			○	○		・	B						
349			サンカクイ			○	○		・	B						
350			ラン	コアニチドリ			○	1	A	・		VU	CR+EN			
351				エビネ		○	○	1	・	A		NT	VU			
352				キンセイラン				○	1	・	B		VU	CR+EN		
353				サルメンエビネ			○	○	1	・	B		VU	CR+EN		
354				ユウシュンラン			○	○	1	・	B		VU	NT		
355		キンラン				○	○	1	B	B		VU	VU			
356		トケンラン					○					VU	CR+EN			
357	シュンラン				○	○		・	C	○						
358	コアツモリソウ					○	1	・	B		NT	CR+EN				
359	クマガイソウ					○	1	B	A		VU	CR+EN				
360	アツモリソウ				○	○	1	・	A		VU	CR+EN		特定		
361	イチヨウラン					○	1	・	・			CR+EN				
362	セッコク					○	1	EX	EX			CR+EN				
363	エゾスズラン				○	○	1	・	A			NT				
364	アオキラン					○	1	・	・		CR	CR+EN				
365	シロテンマ				○						CR	VU				
366	ノビネチドリ				○			B	・			VU				
367	ミヤマモジズリ					○	1	B	・			CR+EN				
368	オオミズトンボ				○		1	・	B		EN	CR+EN				
369	サギソウ				○	○	1	B	A		NT	CR+EN				
370	ミズトンボ				○	○	1	・	A		VU	CR+EN				
371	ムカゴソウ				○		1	・	・		EN	VU				
372	ヒメノヤガラ				○	○	1	・	・		VU	VU				
373	ギボウシラン				○	○	1	C	・		EN	CR+EN				

表 6.1.4-3(9) 注目すべき植物種

No.	分類	科名	種名	文献			重要種選定根拠									
				①	②	③	仙台市における 保全上重要な種		レッドデータブック等							
							学術上重要な種	減少種 山地地域 西部丘陵地・田園地域	環境指標種	環境省 R	宮城県 RDB	文化財保護法	種の保存法			
374	単子葉植物	ラン	フガクスズムシソウ		○		1	・	・		VU	CR+EN				
375			ジガバチソウ		○	○			・	C			NT			
376			セイタカスズムシソウ				○						CR+EN			
377			クモキリソウ			○	○	1,4	・	B						
378			スズムシソウ				○							CR+EN		
379			ヒメフタバラン			○	○	2	・	・				YO		
380			アオフタバラン				○							VU		
381			ヒナチドリ			○	○	1	・	A		VU	CR+EN			
382			カモメラン				○	1	B	・		NT	CR+EN			
383			オノエラン				○	1	B	・						
384			ウチョウラン				○	○	1	B	A	VU	CR+EN			
385			タカネトンボ				○					VU	CR+EN			
386			ミズチドリ				○	○		B	B			VU		
387			ツレサギソウ				○	○		C	C			NT		
388			マイサギソウ					○	1	・	・			CR+EN		
389			オオバノトンボソウ				○			・	B			VU		
390			トキシソウ				○	○	1	・	A		NT	VU		
391			ヤマトキシソウ				○			・	A			CR+EN		
392			マツラン					○	1	・	B		VU	CR+EN		
393			カヤラン				○	○	1	・	B			VU		
394	ネジバナ				○	○		・	B	○						
395	イヌマムカゴ				○	○	1	・	・		EN	CR+EN				
396	ハクウンラン				○	○	1	・	・			VU				
397	ショウキラン					○	1	B	・			CR+EN				
合計	—	108 科	397 種	7 種	238 種	371 種	181 種	62 種	212 種	89 種	103 種	220 種	0 種	1 種		

注) 使用した文献は以下のとおりである。

- ① 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(平成 28 年、宮城県)
- ② 「宮城県植物誌 2017」(平成 29 年、宮城植物の会)
- ③ 「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(平成 29 年、仙台市)

これらの文献は宮城県全域または仙台市全域を対象としていることから、確認位置に仙台市青葉区・太白区・泉区、川崎町の記載がある種を抽出した。ただし、これらの市区及び町内であっても詳細な確認位置が明らかに調査区域外であるものは除いた。

種名及び整列順は「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書(資料編) 仙台市野生生物目録」(平成 29 年、仙台市)に準拠した。

減少種については EX、A、B、C に該当する種数を合計した。

※ ウメガサソウ、ヒメヤブラン、オオウシノケグサは仙台市の環境指標種に指定されているが、指標する環境の内容が「海岸防潮林の自然環境」とされていることから、合計には含めていない。

2) 植生及び保全上重要な植物の生育地の状況

ア. 植生

調査範囲の現存植生は、図 6.1.4-1 に示すとおりである。

仙台市の山地地域には「クリーコナラ群集」、「スギ・ヒノキ・サワラ植林」が広がり、標高の高い地域では「クリーミズナラ群集」、「チシマザサープナ群団」が見られる。また、西部丘陵地・田園地域には「水田雑草群落」、「緑の多い住宅地」等が見られる。大倉ダム、七北田ダムや七北田川、広瀬川、名取川の水域周辺には「ケヤキ群落 (IV)」、「ヤナギ低木群落 (IV)」、「ヨシクラス」といった植生が見られる。

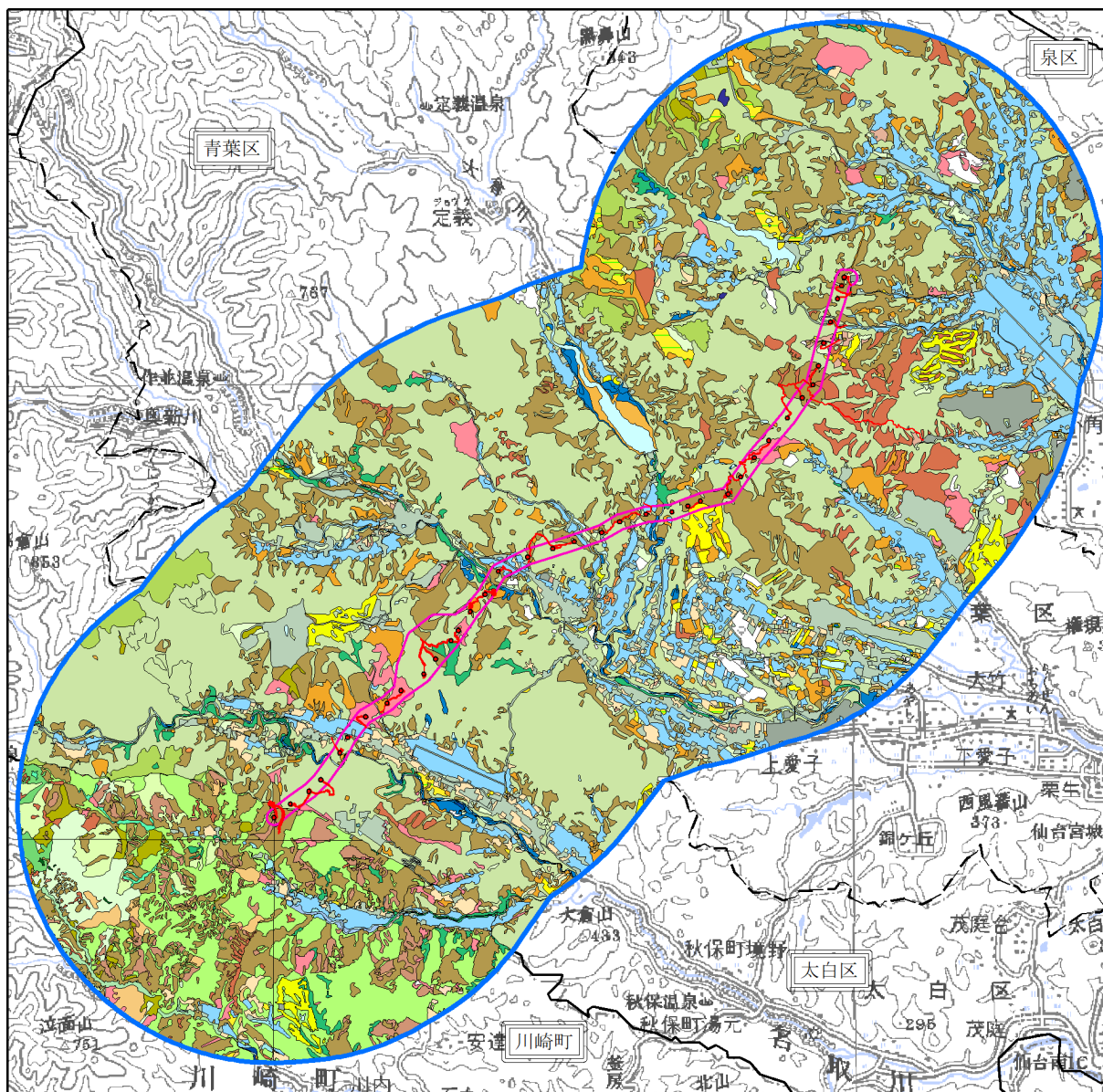
「平成 27 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 28 年、仙台市）では「自然性の高い植生」として、環境省の植生自然度 9、10 に該当する「チシマザサープナ群団」等の自然植生を挙げている。また、「希少性の高い植生」及び「脆弱性の高い植生」を選定している。

植生自然度の区分基準を表 6.1.2-18 (p6-42) に、仙台市における植生の特性区分、判断理由及び調査範囲においてこれらの特性に該当する植生を表 6.1.4-4 に、その位置を図 6.1.4-2 に示す。なお、事業計画地及び土地改変範囲には自然性の高い植生のうちケヤキ群落 (IV) 及びヤナギ低木群落 (IV) の一部が存在する。

表 6.1.4-4 植生の特性区分及び判断理由

特性区分	判断理由	調査範囲において該当する植生
希少性の高い植生	仙台市において分布面積が少ない植生。または、人為的に他の植生に置き換えられるなど、現在では少ない面積しか認められない植生。	該当なし
脆弱性の高い植生	立地環境の特殊性が高く、人為による影響が顕著に表れやすいと考えられる植生。急峻な尾根や湿地等、特殊な立地に成立する植生が該当する。	クロベークタゴヨウ群落、ジュウモンジシダーサワグルミ群落、ケヤキ群落 (IV)、ハンノキ群落 (IV)、ヒメヤシャブシータニウツギ群落、ヒルムシロクラス
自然性の高い植生	環境省の植生自然度 9、10 (自然植生) に該当する植生。	チシマザサープナ群団、イヌブナ群落、モミーイヌブナ群落、クロベークタゴヨウ群落、アカマツ群落 (IV)、ジュウモンジシダーサワグルミ群落、ケヤキ群落 (IV)、ハンノキ群落 (IV)、ヤナギ高木群落 (IV)、ヤナギ低木群落 (IV)、ヒメヤシャブシータニウツギ群落、ヨシクラス、ツルヨシ群落、ヒルムシロクラス

「令和 2 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（令和 3 年 3 月、仙台市）
「自然環境調査 Web-GIS」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）より作成



「平成 27 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 28 年 3 月、仙台市）
 「自然環境調査 Web-GIS」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）より作成

凡 例

- 事業計画地
- 土地改変範囲
- 鉄塔予定地
- 概況調査範囲
- 市町境
- - - 区境

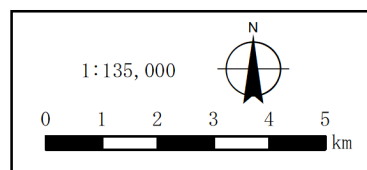
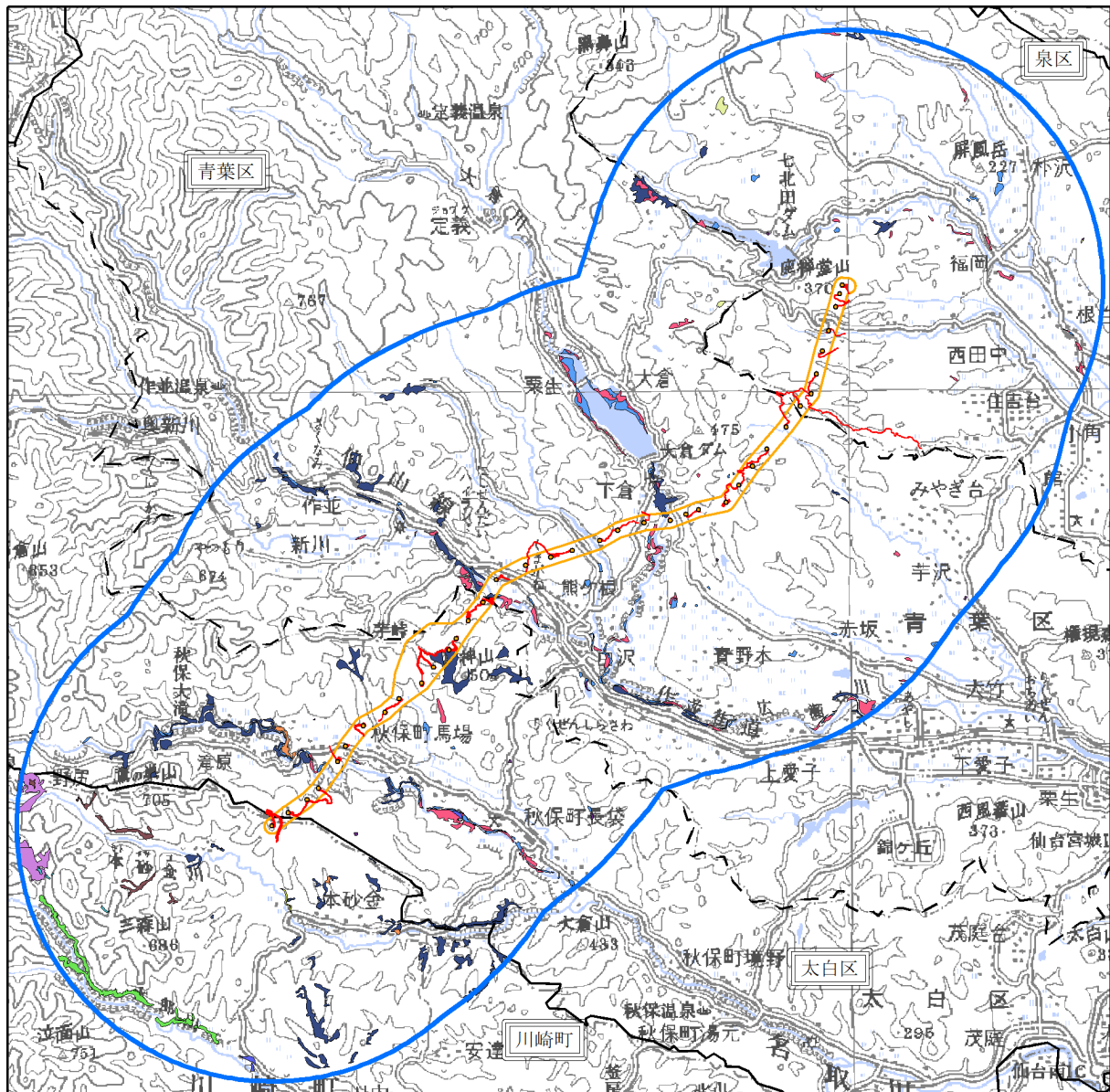


図 6.1.4-1(1) 現存植生

＜植生凡例＞





















<p>ブナクラス域自然植生</p> <ul style="list-style-type: none"> チシマザサ-ブナ群団 イヌブナ群落 モミーイヌブナ群集 クロバキタゴヨウ群落 アカマツ群落 (IV) ジュウモンジシダーサワグルミ群集 ケヤキ群落 (IV) ハンノキ群落 (IV) ヤナギ高木群落 (IV) ヤナギ低木群落 (IV) ヤマハンノキ群落 ヒメヤシブシータニウツギ群落 	<p>河辺・湿原・沼沢地・砂丘植生</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨシクラス ツルヨシ群集 ヒルムシロクラス
<p>ブナクラス域代償植生</p> <ul style="list-style-type: none"> プナーミズナラ群落 クリーミズナラ群集 オオバクロモジミズナラ群集 コナラ群落 (V) オニグルミ群落 (V) アカマツ群落 (V) 落葉広葉低木群落 タニウツギノリウツギ群落 ササ群落 (V) ススキ群団 (V) 伐採跡地群落 (V) 	<p>植林地・耕作地植生</p> <ul style="list-style-type: none"> スギ・ヒノキ・サワラ植林 アカマツ植林 カラマツ植林 竹林 ゴルフ場・芝地 牧草地 路傍・空地雑草群落 放棄畑雑草群落 果樹園 畑雑草群落 水田雑草群落 放棄水田雑草群落
<p>ヤブツバキクラス域代償植生</p> <ul style="list-style-type: none"> クリーコナラ群集 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地 緑の多い住宅地 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等 造成地 開放水域 自然裸地

図 6.1.4-1(2) 現存植生



「平成 27 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 28 年 3 月、仙台市）
 「自然環境調査 Web-GIS」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）より作成

凡 例

- | | | | | | |
|---|--------|---|---------------|--|-----------------|
|  | 事業計画地 |  | チシマザサープナ群団 |  | ハンノキ群落 (IV) |
|  | 土地改変範囲 |  | イヌブナ群落 |  | ヤナギ高木群落 (IV) |
|  | 鉄塔予定地 |  | モミーイヌブナ群集 |  | ヤナギ低木群落 (IV) |
|  | 概況調査範囲 |  | クロバークタゴヨウ群落 |  | ヒメヤシャブシータニウツギ群落 |
|  | 市町境 |  | アカマツ群落 (IV) |  | ヨシクラス |
|  | 区境 |  | ジュウモンジサワグルミ群集 |  | ツルヨシ群集 |
| | |  | ケヤキ群落 (IV) |  | ヒルムシロクラス |

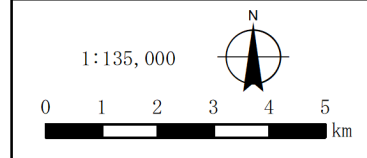


図 6.1.4-2 自然性及び脆弱性の高い植生位置

イ. 保全上重要な植物の生育地

調査範囲における注目すべき植物群落位置は図 6.1.4-3 に示すとおりである。「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年、仙台市）では、表 6.1.4-5 に示す選定基準により「植物生育地として重要な地域」を表 6.1.4-7 のとおり選定している。

また、「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（平成 28 年、宮城県）では、表 6.1.4-6 に示す「特定植物群落選定基準」（環境省生物多様性センター）により、「希少な植物群落」を表 6.1.4-8 のとおり選定しているほか、環境省は平成 28 年に全国 500 箇所の「生物多様性保全上重要な里地里山」を表 6.1.4-9 のとおり選定している。

なお、事業計画地及び土地改変範囲には「根白石（朴沢・実沢・福岡）地域及び西田中地域」の里地・里山植生、「奥武士・大倉地区」の里地・里山植生、「奥羽山脈～青葉山丘陵地域」の植生、「大倉・芋沢丘陵地」の植生、「秋保地区」の里山等が存在する。

表 6.1.4-5 重要な地域の選定基準

No.	判断理由
1	保全上重要な動植物種が高密度で分布する地域（動物の繁殖場、集団越冬地となっている地域など）
2	多様な生物相が保存されている地域
3	自然性の高い植生、その他学術上重要な植生が保存されている地域
4	湿地、湧水、岸壁地、地滑り等の動植物の生息・生育地として特異な環境を有する地域
5	自然とのふれあいの場としてふさわしい地域
6	環境教育の場としてふさわしい地域
7	郷土の特色が保存されている地域（里地里山・居久根等）
8	緑の回廊としてあるいは動物の移動のネットワークとして重要な地域（山地から市街地への連続した緑地、市街地や田園地域に点在する緑地等）
9	海辺や水辺、植生帯境界等のエコトーンとして重要な地域

「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年、仙台市）より作成

表 6.1.4-6 希少な植物群落の選定基準

No.	特定植物群落選定基準
A	原生林もしくはそれに近い自然林
B	国内の若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落又は個体群
C	比較的普通に見られるものであっても、南限・北限・隔離分布等分布限界となる産地に見られる植物群落又は個体群
D	砂丘・断崖地・塩沼地・湖沼・河川・湿地・高山・石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの
E	郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの
F	過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの
G	乱獲、その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群
H	その他、学術上重要な植物群落

「日本の重要な植物群落Ⅱ 東北版2 宮城県・福島県」(昭和63年、環境庁)より作成

表 6. 1. 4-7 注目すべき植物群落（植物生育地として重要な地域）

No.	地域名	対象	備考
1	芳の平のミズバショウ自生地	植物	県立自然公園船形連峰。泉ヶ岳の南麓の芳の平にある中層-低層湿原。ハンノキ、ヤチダモの下層にミズバショウが群生する。ミズバショウ群生地としては面積も大きく、個体数が多い。乾燥化が懸念されており、基礎調査を実施中。
2	鎌倉山のケヤキ林	植物	県立自然公園二口峡谷。標高 375m の岩峰の山麓に形成された岩錐地に成立するケヤキが優占する林。30～40 年前の伐採跡に萌芽再生したものと思われるが、土壌的極相に近い組成であり貴重である。
3	鎌倉山の岸壁植物群落	植物	県立自然公園二口峡谷。標高 375m の岩峰の垂直崖に成立。イワキンバイ、イワデンダ、キリンソウ、スカシユリ等の耐乾性の草本が多く出現する。
4	棒目木のケヤキ林	植物	県立自然公園二口峡谷。丘陵南斜面の岩盤が露出する急傾斜地に成立するケヤキが優占する林。多少人為が加わっているが、土壌的極相に近い林分（森林）である。
5	黒森山国有林のソゴ林と周辺の植生	植物	権現森緑地環境保全地域。仙台市を分布北限とするソゴが小群落を形成している。
6	名取川・広瀬川中～下流域の河畔植生	植物	広瀬川の清流を守る条例環境保全区域。立地や洪水様態に応じた多様な植生が認められ、ヤナギ類の群落を中心に、防災・減災対策と整合性のある保全・保護対策が必要。市民の憩いの場としても極めて貴重。
7	七北田川下流域の河畔植生	植物	ヨシ群落自然植生度 10 のヨシクラスを主体とする河畔植生で、防災・減災対策と整合性のある保全・保護対策が必要。市民の憩いの場として極めて貴重。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。
8	朴沢のモミ林	植物	朴沢地区の国道 457 号線沿いに残存するモミ高木が林立する小林分。
9	根白石（朴沢・実沢・福岡）地域及び西田中地域の里地・里山植生	植物	市街地の北西部に位置し、二次林、植林、農地等がモザイク状に分布する土地利用が維持され、里地・里山植生が良好な状態で残されている。環境省が全国で 500 箇所を選定する「生物多様性保全上重要な里地里山」にも選定されている。
10	奥武士・大倉地区の里地・里山植生	植物	市街地の西部に位置し、二次林、植林、農地等がモザイク状に分布する土地利用が維持され、里地・里山植生が良好な状態で残されている。環境省が全国で 500 箇所を選定する「生物多様性保全上重要な里地里山」にも選定されている。
11	奥羽山脈～青葉山丘陵地域の植生	植物	市街地の南部に位置し、野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。また、青葉山は、狭い地域内に 800 種以上の植物が自生し、里山の自然に親しむ場として活用されており、環境省が全国で 500 箇所を選定する「生物多様性保全上重要な里地里山」にも選定されている。
12	大倉・芋沢丘陵地の植生	植物	市街地の中央部から北西にかけて位置する。野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。植物及び動物の生物種の多様性を維持するための地域として保護する必要がある。
13	秋保地区の里山	植物	県立自然公園二口峡谷。市街地の南西部に位置し、里地・里山植生が良好な状態で残されている。野生動植物のハビタット、環境学習のフィールドとして重要。
14	泉ヶ岳一帯	植物	県立自然公園船形連峰。良好なブナ、ミズナラ帯が残り、野生動植物のハビタットとして重要。

注) No. は図 6. 1. 4-3 の図中番号に対応する。

「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年、仙台市）より作成

表 6.1.4-8 注目すべき植物群落（希少な植物群落）

No.	希少群落名	植生・群落 タイプ	所在地	面積 (ha)	備 考
15	芳の平のハンノキー ミズバショウ群落	冷帯温林・ ハンノキ群落	泉区福岡	4	仙台市指定天然記念物、 特定植物群落（対照番号 120）
16	鎌倉山のケヤキ群落	中間温帯林・ ケヤキ群落	青葉区作並	0.2	特定植物群落（対照番号 121）
17	鎌倉山の植物群落	岩壁植生	青葉区作並	0.2	特定植物群落（対照番号 122）
18	棒目木のケヤキ群落	中間温帯林・ ケヤキ群落	青葉区熊ヶ 根	0.1	特定植物群落（対照番号 123）

注) No. は図 6.1.4-3 の図中番号に対応する。

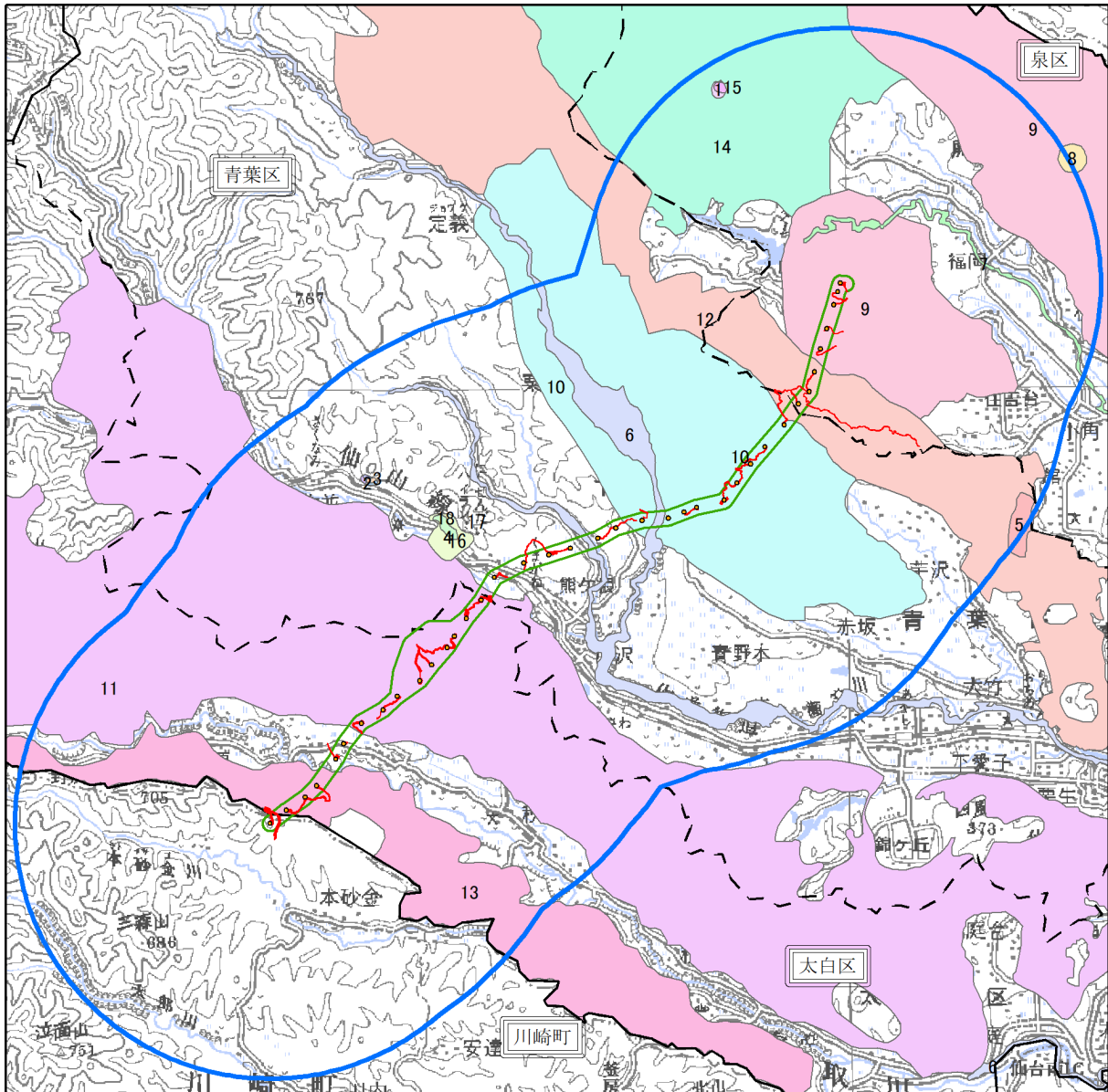
「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（平成 28 年、宮城県）より作成

表 6.1.4-9 生物多様性保全上重要な里地里山

No.	地域名	選定理由
a	奥武士・大倉地区	市の中西部に位置する、水田やため池、山林、山地草原のススキ草原などがモザイク状に広がる農村地域である。 都市近郊に位置しながら、「里地里山植生が良好な状態で残されている地域」として、市の「植物生育地として重要な地域」に選定されており、トウホクサンショウウオやヒメギフチョウなど希少な動植物の生息・生育が確認されている。また、豊かな里地里山生態系のシンボルであるサシバの生息も確認されている。
b	根白石（朴沢・実 沢・福岡）、西田中 地区	市の北部に位置し、古くから薪炭生産等が盛んに行われてきた山村地域である。 手入れの行き届いた二次林、農地などモザイク状の土地利用形態が維持され、「里地里山植生が良好な状態で残されている地域」として、市の「植物生育地として重要な地域」に選定されており、サンショウクイやアオハダトンボなど希少な動植物の生息・生育が確認されている。また、豊かな里地里山生態系のシンボルであるサシバの生息も確認されている。

注) 記号は、a が 図 6.1.4-3 の図中番号 10 及び図 6.1.4-4 の図中番号 8、b が図 6.1.4-3 の図中番号 9 及び図 6.1.4-4 の図中番号 9 に対応する。

「生物多様性保全上重要な里地里山」（環境省 HP）より作成



「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年 3 月、仙台市）
 「自然環境調査 Web-GIS」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）
 「生物多様性保全上重要な里地里山」（環境省 HP）より作成

凡 例

- | | | |
|--|---|---|
| 事業計画地 | 1, 芳の平のミズバショウ自生地 | 10, 奥武士・大倉地区の里地・里山植生 |
| 土地改変範囲 | 2, 鎌倉山のケヤキ林 | 11, 奥羽山脈～青葉山丘陵地域の植生 |
| ● 鉄塔予定地 | 3, 鎌倉山の岸壁植物群落 | 12, 大倉・芋沢丘陵地の植生 |
| 概況調査範囲 | 4, 棒目木のケヤキ林 | 13, 秋保地区の里山 |
| 市町境 | 5, 黒森山国有林のソヨゴ林と周辺の植生 | 14, 泉ヶ岳一帯 |
| 区境 | 6, 名取川・広瀬川中～下流域の河畔植生 | 15, 芳の平のハンノキ-ミズバショウ群落 |
| | 7, 七北田川下流域の河畔植生 | 16, 鎌倉山のケヤキ群落 |
| | 8, 朴沢のモミ林 | 17, 鎌倉山の植物群落 |
| | 9, 根白石（朴沢・実沢・福岡）地域及び西田中地域の里地・里山植生 | 18, 棒目木のケヤキ群落 |

注) 図中番号は表 6.1.4-7 及び表 6.1.4-8 の No. に対応する。
 表 6.1.4-9 の記号 a は図中番号 10、記号 b は図中番号 9 と同じである。

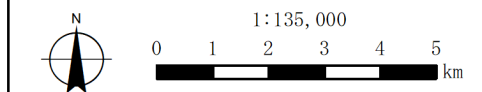


図 6.1.4-3 注目すべき植物群落位置

(2) 動物

1) 注目すべき動物の状況

仙台市の山地から丘陵地に広がる森林域にはツキノワグマやカモシカをはじめとした哺乳類が生息している。近年はツキノワグマ、カモシカの低地丘陵への分布拡大が確認されている。鳥類では森林性の種が多く分布し、イヌワシやクマタカ等の猛禽類の生息も確認されている。爬虫類では自然度が高い林床を好むタカチホヘビなども生息している。両生類では山地の溪流にキタオウシュウサンショウウオが生息し、トウホクサンショウウオは丘陵地の沢などに広く生息している。また、池沼の縁の樹木の枝に卵塊を産み付けるモリアオガエルや清流の環境を指標とするカジカガエルも生息している。魚類では山地の溪流にニッコウイワナ、カジカ等が生息する一方で、丘陵地の池沼等には移入種が定着しており、在来の種の生息が脅かされている。昆虫類では森林性の昆虫類が多数生息し、泉ヶ岳付近は山地性チョウ類の主要な生息地になっている。丘陵地の湿地ではトンボ類も多く生息している。

市街地や田園地域では、人の生活空間の拡大や各種開発事業により、動物の良好な生息環境が減少しているが、公園や残された緑地等が多く動物にとって貴重な生息場所となっている。

調査範囲における注目すべき動物の状況を「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（平成 28 年、宮城県）、「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年、仙台市）等に記載されている種から調査範囲内に生息が確認されている種を抽出し、そのうち表 6.1.4-1 に示す選定基準に該当する種を注目すべき種として整理した。なお、仙台市における保全上重要な種のうち、減少種については地域区分が「山地地域」及び「西部丘陵地・田園地域」に該当する種とした（表 6.1.4-2 参照）。

調査範囲における注目すべき動物種の種数は表 6.1.4-10、種類は表 6.1.4-11～16 に示すとおりである。確認された注目すべき動物種の種数は 38 目 115 科 246 種であり、そのうち環境省レッドリスト掲載種は 82 種、宮城県レッドデータブック掲載種は 141 種である。

表 6.1.4-10 注目すべき動物種の種数

項目	目数	科数	種数	重要種選定根拠							
				仙台市における保全上重要な種				レッドデータブック等			
				学術上 重要種	減少種		環境 指標種	環境省 RL	宮城県 RDB	文化財 保護法	種の 保存法
					山地 地域	西部丘陵 地・田園 地域					
哺乳類	5	11	29	21	19	17	23	3	13	2	1
鳥類	15	34	78	53	21	58	45	29	34	4	6
爬虫類	1	5	9	3	3	4	6	0	2	0	0
両生類	2	6	12	2	1	9	10	4	6	0	0
魚類	7	9	15	9	4	4	8	12	10	0	0
昆虫類	8	50	103	44	13	36	22	34	76	0	0
合計	38 目	115 科	246 種	132 種	61 種	128 種	114 種	82 種	141 種	6 種	7 種

表 6.1.4-11 注目すべき動物 [哺乳類]

No.	目名	科名	種名	文献			重要種選定根拠									
				①	②	③	仙台市における 保全上重要な種			レッドデータブック等						
							学術上 重要な種	減少種 山地地域	減少種 西部丘陵地・ 田園地域	環境指 標種	環境省 R2	宮城県 R2B	文化財保 護法	種の保 存法		
1	モグラ	トガリネズミ	シントウトガリネズミ		○	○		+	C	○		DD				
2			ホンシュウジネズミ			○			+	C	○					
3			カワネズミ		○	○	1,4	B	B	○		DD				
4		モグラ	ヒメヒミズ		○	○	1	+	・	○						
5			ミズラモグラ	○		○	1,4	C	・		NT	NT				
6	コウモリ	キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ			○	1	C	C	○						
7			ニホンキクガシラ コウモリ		○	○	1	C	C	○						
8		ヒナコウモリ	ヒメホオヒゲコウモリ	○		○	1,4	C	・	○		VU				
9			カグヤコウモリ	○		○	1,4	C	・	○		CR+EN				
10			モモジロコウモリ		○	○	1,4	C	C	○						
11			モリアブラコウモリ			○	1,4	C	・	○	VU	CR+EN				
12			ヤマコウモリ			○	1,4	C	C	○	VU	VU				
13			ヒナコウモリ			○	1,4	C	C	○		VU				
14			ウサギコウモリ	○	○	○	1,4	C	C	○		VU				
15			ユビナガコウモリ		○	○	1,4	C	C	○						
16			コテングコウモリ			○	1,4	C	C	○						
17			テングコウモリ		○	○	1,4	C	C	○		VU				
18		ネズミ	リス	ホンドモモンガ			○	1,4	C	・						
19				ムササビ			○	1,4	・	C	○					
20			ヤマネ	ヤマネ			○	1,4	C	・		NT	国天			
21			ネズミ	ヤチネズミ			○	4	+	+						
22				ハタネズミ			○		+	C	○					
23	カヤネズミ			○								YO				
24	ヒメネズミ					○			+	+	○					
25	ネコ		クマ	ツキノワグマ		○	○	4	C	C					国際	
26		イヌ	タヌキ		○	○		+	+	○						
27		イタチ	テン		○	○		C	C	○						
28			イタチ		○	○		C	C	○						
29	ウシ	ウシ	カモシカ		○	○	4	+	・	○		YO	特天			
合計	5目	11科	29種	5種	13種	28種	21種	19種	17種	23種	3種	13種	2種	1種		

注) 使用した文献は以下のとおりである。

- ①「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(平成 28 年、宮城県)
- ②「宮城県の野生哺乳動物」(平成 8 年、宮城野野生動物研究会)
- ③「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(平成 29 年、仙台市)

これらの文献は宮城県全域または仙台市全域を対象としていることから、確認位置に仙台市青葉区・太白区・泉区、川崎町の記載がある種を抽出した。ただし、これらの市区及び町内であっても詳細な確認位置が明らかに調査区域外であるものは除いた。

種名及び整列順は「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書(資料編) 仙台市野生生物目録」(平成 29 年、仙台市)に準拠した。

減少種については B、C に該当する種数を合計した。

表 6.1.4-12(1) 注目すべき動物 [鳥類]

No.	目名	科名	種名	文献				重要種選定根拠							
				①	②	③	④	仙台市における 保全上重要な種				レッドデータブック等			
								学術上 重要な種	減少種 山地地域	西部丘陵地・ 田園地域	環境指標種	環境省 指定	宮城県 R28	文化財 保護法	種の 保存法
1	キジ	キジ	ウズラ				○	1,4		A		VU	CR+EN		
2			ヤマドリ		○		○	1,4	+	C	○				
3	カモ	カモ	ヒシクイ		○				・	・		VU	NT	国天	
4			マガン		○			1,4	・	・		NT		国天	
5			オシドリ		○		○	1,4	+	C		DD			
6	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ		○		○		・	C	○				
7	ペリカン	サギ	サンカノゴイ				○	1	・	B		EN	NT		
8			ヨシゴイ				○	1,4	・	C	○	NT	NT		
9			ミゾゴイ		○		○	1,4	C	B		VU	NT		
10			アマサギ		○			4	・	・	○				
11			チュウサギ		○		○	1,2,4	・	C		NT			
12			コサギ		○		○		・	C	○				
13	ツル	クイナ	クイナ				○	1,4	・	C			YO		
14			ヒクイナ		○		○	1,4	・	C		NT	CR+EN		
15			バン		○		○	1,4	・	C	○				
16	カッコウ	カッコウ	ホトトギス		○		○	1,4	+	+	○				
17			カッコウ		○		○	1,4	C	C	○				
18	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ		○		○	1,4	+	C	○	NT	NT		
19	アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ		○								YO		
20	チドリ	チドリ	イカルチドリ		○		○	1,4	C	C	○				
21		シギ	オオジシギ		○		○	1,4	B	B		NT	NT		
22		カモメ	コアジサシ				○	1,2,4	・	・		VU	VU		
23	タカ	ミサゴ	ミサゴ		○	○		1,4	・	・	○	NT			
24		タカ	ハチクマ		○	○	○	1,4	C	C		NT	NT		
25			オジロワシ				○	1,2,4	・	B		VU	VU	国天	国内
26			チュウヒ		○		○	1,4	・	C	○	EN	NT		
27			ツミ		○	○	○	1,4	C	C			DD		
28			ハイタカ		○	○	○	1,4	C	C		NT	NT		
29			オオタカ		○	○	○	1,4	C	C	○	NT	NT		国内
30			サシバ		○	○	○	1,4	C	C		VU	VU		
31			ノスリ		○		○		+	C	○				
32			イヌワシ		○	○	○	1,4	B	・	○	EN	CR+EN	国天	国内
33			クマタカ		○	○	○	1,4	B	・	○	EN	CR+EN		国内
34	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	○	○		○	1	C	C			YO		
35			コノハズク		○		○	1	C	C	○		YO		
36			フクロウ		○		○	1	C	C	○				
37			アオバズク		○		○	1	・	C	○		VU		
38			コミミズク				○	1	・	B	○		YO		
39	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン		○		○	1	C	・			YO		
40			カワセミ		○		○	1,4	・	C	○				
41			ヤマセミ		○		○	1,4	・	・	○		YO		
42		ブッポウソウ	ブッポウソウ		○							EN			
43	キツツキ	キツツキ	アカゲラ		○		○		+	C					
44			アオゲラ		○		○		+	C	○				

表 6.1.4-12(2) 注目すべき動物 [鳥類]

No.	目名	科名	種名	文献				重要種選定根拠									
				①	②	③	④	仙台市における 保全上重要な種				レッドデータブック等					
								学術上 重要種	減少種 山地地域	減少種 西部丘陵地・ 田園地域	環境指 標種	環境省 R2	宮城県 R28	文化財保 護法	種の保 存法		
45	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ		○		○	1,4	・	C							
46			チゴハヤブサ		○		○		・	・			YO				
47			ハヤブサ		○	○	○	1,4	C	B		VU	NT			国内	
48	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ		○		○		C	C		VU	VU				
49		カササギヒタキ	サンコウチョウ		○		○	1	・	C	○						
50		モズ	チゴモズ				○	1,4	・	B		CR	CR+EN				
51			モズ		○		○	1	+	C	○						
52			アカモズ		○		○	1,4	・	B		EN	CR+EN				
53		ヒバリ	ヒバリ		○		○		・	C	○						
54		ツバメ	ツバメ		○		○		・	C	○						
55		ウグイス	ウグイス		○		○	1,4	+	+	○						
56		ムシクイ	オオムシクイ		○								DD				
57			センダイムシクイ		○		○		+	C	○						
58		センニュウ	オオセッカ		○			1,3,4	・	・		EN	VU			国内	
59		ヨシキリ	オオヨシキリ		○		○	1,4	・	C	○						
60			コヨシキリ		○		○	1,4	・	C	○						
61		セッカ	セッカ		○		○	1,4	・	C	○						
62		ゴジュウカラ	ゴジュウカラ		○		○		+	・	○						
63		カワガラス	カワガラス		○		○		+	C	○						
64		ヒタキ	トラツグミ		○		○		+	C	○						
65			クロツグミ		○		○	1,4	+	C	○						
66			シロハラ		○		○		+	C	○						
67			コルリ		○		○	1,4	+	C	○						
68	ルリビタキ			○		○		+	C								
69	コサメビタキ			○		○		・	・	○							
70	キビタキ			○		○		+	C	○							
71	オオルリ			○		○	1,4	+	C	○							
72	イワヒバリ	イワヒバリ	○	○								YO					
73	セキレイ	キセキレイ		○		○	1,4	+	C	○							
74		セグロセキレイ		○		○	4	C	C								
75	ホオジロ	ホオジロ		○		○		+	+	○							
76		ホオアカ		○		○		B	C	○							
77		ノジコ		○		○	1,4	C	C		NT	YO					
78		アオジ		○		○		C	C	○							
合計	15 目	34 科	78 種	2 種	71 種	9 種	69 種	53 種	21 種	58 種	45 種	29 種	34 種	4 種	6 種		

注) 使用した文献は以下のとおりである。

- ① 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(平成 28 年、宮城県)
- ② 「宮城県の鳥類分布」(平成 14 年、日本野鳥の会宮城県支部)
- ③ 「宮城県猛禽類生息状況調査報告書(環境影響生物基礎調査)」(平成 28 年、宮城県環境生活部自然保護課)
- ④ 「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(平成 29 年、仙台市)

これらの文献は宮城県全域または仙台市全域を対象としていることから、確認位置に仙台市青葉区・太白区・泉区、川崎町の記載がある種を抽出した。ただし、これらの市区及び町内であっても詳細な確認位置が明らかに調査区域外であるものは除いた。

種名及び整列順は「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書(資料編) 仙台市野生生物目録」(平成 29 年、仙台市)に準拠した。

減少種については A、B、C に該当する種数を合計した。

表 6. 1. 4-13 注目すべき動物 [爬虫類]

No.	目名	科名	種名	文献			重要種選定根拠							
				①	②	③	仙台市における 保全上重要な種			レッドデータブック等				
							学術上 重要な種	減少種 山地地域	西部丘陵地・ 田園地域	環境指 標種	環境省 RL	宮城 県 RDB	文化財 保護法	種の 保存法
1	有鱗	トカゲ	ヒガシニホントカゲ		○	○	1	・	C	○				
2		カナヘビ	ニホンカナヘビ		○	○		+	+	○				
3		タカチホヘビ	タカチホヘビ		○	○	1	・	・			DD		
4		ナミヘビ	アオダイショウ		○	○		+	+	○				
5			ジムグリ		○	○		+	+	○				
6			シロマダラ			○	1	C	C			DD		
7			ヒバカリ		○	○		C	C	○				
8			ヤマカガシ		○	○		・	+	○				
9		クサリヘビ	ニホンマムシ		○	○		C	C					
合計	1 目	5 科	9 種	0 種	8 種	9 種	3 種	3 種	4 種	6 種	0 種	2 種	0 種	0 種

注) 使用した文献は以下のとおりである。

- ① 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(平成 28 年、宮城県)
- ② 「宮城県の両生類・は虫類」(平成 12 年、宮城野野生動物研究会)
- ③ 「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(平成 29 年、仙台市)

これらの文献は宮城県全域または仙台市全域を対象としていることから、確認位置に仙台市青葉区・太白区・泉区、川崎町の記載がある種を抽出した。ただし、これらの市区及び町内であっても詳細な確認位置が明らかに調査区域外であるものは除いた。

種名及び整列順は「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書(資料編) 仙台市野生生物目録」(平成 29 年、仙台市) に準拠した。

減少種については C に該当する種数を合計した。

表 6.1.4-14 注目すべき動物 [両生類]

No.	目名	科名	種名	文献		重要種選定根拠									
						仙台市における 保全上重要な種			レッドデータブック等						
				①	②	③	学術上重要な種	減少種 山地地域	西部丘陵地・田園地域	環境指標種	環境省 RL	宮城県 RDB	文化財保護法	種の保存法	
1	有尾	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ		○	○	4	+	C	○	NT	NT			
2			クロサンショウウオ		○	○		+	C	○	NT	LP			
3			キタオウシュウ サンショウウオ		○	○	2	+	C	○		NT			
4		イモリ	アカハライモリ		○	○		+	C	○	NT	LP			
5	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル		○	○		+	C						
6			アマガエル	ニホンアマガエル		○	○		+	+	○				
7			アカガエル	タゴガエル		○	○		+	C					
8				トウキョウダルマガエル		○	○		C	C	○	NT	NT		
9				ツチガエル		○	○		+	C	○		NT		
10			アオガエル	シュレーゲルアオガエル		○	○		+	+	○				
11				モリアオガエル		○	○		+	B	○				
12				カジカガエル		○	○		+	+	○				
合計	2目	6科	12種	0種	12種	12種	2種	1種	9種	10種	4種	6種	0種	0種	

注) 使用した文献は以下のとおりである。

- ① 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(平成 28 年、宮城県)
- ② 「宮城県の両生類・は虫類」(平成 12 年、宮城野野生動物研究会)
- ③ 「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(平成 29 年、仙台市)

これらの文献は宮城県全域または仙台市全域を対象としていることから、確認位置に仙台市青葉区・太白区・泉区、川崎町の記載がある種を抽出した。ただし、これらの市区及び町内であっても詳細な確認位置が明らかに調査区域外であるものは除いた。

種名及び整列順は「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書(資料編) 仙台市野生生物目録」(平成 29 年、仙台市) に準拠した。

減少種については B、C に該当する種数を合計した。

表 6.1.4-15 注目すべき動物 [魚類]

No.	目名	科名	種名	文献		重要種選定根拠								
				①	②	仙台市における 保全上重要な種				レッドデータブック等				
						学術上 重要な種	減少種		環境 指標種	環境省 RL	宮城県 RDB	文化財 保護法	種の 保存法	
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類		○		1	C						B
2	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ		○	1	・	B	○	EN	NT			
3	コイ	コイ	キンブナ		○		+	+		VU	NT			
4			テツギョ		○	1	A	/			CR+EN			
5			エゾウグイ	○	○	1,4	B	/		LP	VU			
6			ウグイ		○			+	+	○				
7			シナイモツゴ		○	1,4	A	/		CR	CR+EN			
8			ドジョウ	ホトケドジョウ		○	1	+	+	○	EN	NT		
9			ナマズ	ギギ	ギバチ		○	1	・	+		VU	NT	
10	サケ	アユ	アユ		○		/	+	○					
11		サケ	ニッコウイワナ		○		+	B		DD				
12		サクラマス	○	○	1	+	・	○	NT	NT				
13		サクラマス(ヤマメ)		○		+	+	○	NT					
14	ダツ	メダカ	ミナミメダカ		○	1	・	A	○	VU	NT			
15	カサゴ	カジカ	カジカ		○		+	+	○	NT				
合計	7目	9科	15種	2種	15種	9種	4種	4種	8種	12種	10種	0種	0種	

注) 使用した文献は以下のとおりである。

① 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(平成 28 年、宮城県)

② 「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(平成 29 年、仙台市)

これらの文献は宮城県全域または仙台市全域を対象としていることから、確認位置に仙台市青葉区・太白区・泉区、川崎町の記載がある種を抽出した。ただし、これらの市区及び町内であっても詳細な確認位置が明らかに調査区域外であるものは除いた。

種名及び整列順は「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書(資料編) 仙台市野生生物目録」(平成 29 年、仙台市)に準拠した。

減少種については A、B、C に該当する種数を合計した。

表 6.1.4-16(1) 注目すべき動物 [昆虫類]

No.	目名	科名	種名	文献			重要種選定根拠										
				①	②	③	仙台市における 保全上重要な種			レッドデータブック等							
							学術上 重要な種	減少種 山地地域	西部丘陵地・ 田園地域	環境指 標種	環境省 指定	宮城県 指定	文化財保 護法	種の保 存法			
1	トンボ	イトトンボ	モートンイトトンボ		○							NT					
2			カラカネイトトンボ		○								CR+EN				
3		カワトンボ	アオハダトンボ		○							NT					
4		ムカシトンボ	ムカシトンボ		○	○	1,4	+	+	○							
5		ヤンマ	マダラヤンマ		○			・	・			NT	NT				
6			カトリヤンマ		○	○	1	・	B				CR+EN				
7		サナエトンボ	ウチワヤンマ		○	○	1	・	C								
8			ヒメサナエ	○	○	○	1	・	・				VU				
9			ナゴヤサナエ		○	○	1,2	・	・			VU	CR+EN				
10		ムカシヤンマ	ムカシヤンマ		○	○	1,4	・	C	○							
11		エゾトンボ	オオトラフトンボ		○	○	1	C	C				VU				
12			エゾトンボ		○	○		・	・				VU				
13		トンボ	ハッチョウトンボ		○	○	1	・	B	○			VU				
14			コノシメトンボ	○	○	○	1	・	A				CR+EN				
15			キトンボ	○	○	○	1	・	A				VU				
16			ナツアカネ		○	○		・	C	○							
17			マユタテアカネ		○	○		・	C	○							
18			アキアカネ		○	○		・	C	○							
19			ノシメトンボ		○	○		・	C	○							
20			マイコアカネ		○	○		・	C	○							
21			ヒメアカネ	○	○	○	1	・	B					CR+EN			
22	ゴキブリ		オオゴキブリ	オオゴキブリ	○			・	・				VU				
23	バッタ	マツムシ	ズムシ		○	1	・	B									
24		バッタ	カワラバッタ	○		○	1	・	・	○		NT					
25	カメムシ	セミ	エゾゼミ				・	+	○								
26		コオイムシ	コオイムシ	○		○	1	・	B		NT	NT					
27	タガメ	○	○	○	1	・	B	○	VU	CR+EN							
28	アミメ カゲロウ	ツノトンボ	キバネツノトンボ		○	1	・	B				VU					
29			ツノトンボ	○		○	1	・	A				CR+EN				
30		ウスバカゲロウ	カスリウスバカゲロウ	○		○		・	・				DD				
31	オオウスバカゲロウ				○		・	・	※			CR+EN					
32	チョウ	セセリチョウ	ホンチャバネセセリ	○		○	1	C	B		EN	VU					
33			チャマダラセセリ	○		○	1	A	A			EN	CR+EN				
34	シジミチョウ	スギタニルリシジミ 本州亜種	ジョウザンミドリシジミ			○		C	・	○							
35			クロミドリシジミ			○		・	・	○							
36			クロシジミ			○	1	・	C								
37			フジミドリシジミ			○	1	・	・	○							
38			カラスシジミ	○		○		・	・				NT				
39			タテハチョウ	オオウラギンヒョウモン			○		EX	EX			CR	EX			

表 6.1.4-16(2) 注目すべき動物 [昆虫類]

No.	目名	科名	種名	文献			重要種選定根拠										
				①	②	③	仙台市における 保全上重要な種			レッドデータブック等							
							学術上 重要な種	減少種 山地地域	西部丘陵地・ 田園地域	環境指 標種	環境省 指定	宮城県 R28	文化財保 護法	種の保 存法			
41	チョウ	タテハチョウ	オオムラサキ			○	1	・	C	○	NT						
42			ギンボシヒョウモン 本州亜種			○	1	A	A			CR+EN					
43		アゲハチョウ	アオスジアゲハ			○	4	・	・	○							
44			ヒメギフチョウ本州亜種	○		○	1	C	B	○	NT	NT					
45		シロチョウ	ヒメシロチョウ 北海道・本州亜種			○		EX	EX		EN	CR+EN					
46		ジャノメチョウ	キマダラモドキ	○		○	1	C	・		NT	NT					
47			ウラジャノメ本州亜種			○	1,2	・	・			DD					
48			ジャノメチョウ			○		・	C	○							
49		ツトガ	ゼニガサミズメイガ	○		○		・	・			NT					
50		シャクガ	フタスジギンエダシャク	○								NT					
51		スズメガ	ヒメスズメ			○		・	・		NT	VU					
52			ギンボシスズメ	○		○	1	・	A			CR+EN					
53		シャチホコガ	タツタカモクメ シャチホコ	○		○	1,2	・	・			NT					
54			クワヤマエグリ シャチホコ	○		○	1	A	・		NT	NT					
55		ヒトリガ	キバラヒトリ	○		○	1	・	・			NT					
56		ドクガ	フタホシドクガ	○		○	1	・	・			NT					
57		ヤガ	キスジウスキョトウ	○		○		・	・		VU	NT					
58			コシロシタバ			○	1	A	・		NT	VU					
59			ギンモンセダカモクメ	○		○	1	・	・		NT	DD					
60			オガサワラヒゲョトウ	○		○	1	B	B		EN	CR+EN					
61			オオチャバネョトウ	○		○		・	・		VU	NT					
62		コウチュウ	オサムシ	ツヤキベリアオゴミムシ			○		・	・		VU	VU				
63				セアカオサムシ	○		○		・	・		NT	NT				
64				ヤマトツクリゴミムシ			○	1	・	B							
65				マークオサムシ	○								VU	CR+EN			
66				シラハタキバナガ ゴミムシ	○									DD			
67			ハンミョウ	ハンミョウ			○		・	B							
68	ホソハンミョウ			○		○		・	・		VU	NT					
69	ゲンゴロウ		メススジゲンゴロウ	○								NT					
70			ゲンゴロウ	○		○	1	・	・		VU	NT					
71			シマゲンゴロウ			○		・	・		NT						
72			エゾヒメゲンゴロウ	○		○		・	・			DD					
73	コガシラミズムシ		マダラコガシラミズムシ	○		○		・	・		VU	DD					
74	クワガタムシ		ネプトクワガタ本土亜種			○		・	・			DD					
75		ミヤマクワガタ			○		・	C	○								
76		オニクワガタ			○	1	C	・	○								
77		ノコギリクワガタ			○		・	C	○								
78	コガネムシ	アカマダラハナムグリ	○		○		・	・		DD	NT						
79		ダイコクコガネ	○		○		・	・		VU	VU						

表 6.1.4-16(3) 注目すべき動物 [昆虫類]

No.	目名	科名	種名	文献			重要種選定根拠									
				①	②	③	仙台市における 保全上重要な種			レッドデータブック等						
							学術上 重要な種	減少種 山地地域	西部丘陵地・ 田園地域	環境 指標種	環境省 R2	宮城県 R28	文化財 保護法	種の 保存法		
80	コウチュウ	コガネムシ	シナノエンマコガネ	○									DD			
81		コブスジコガネ	コブナシコブスジコガネ	○		○		・	・				NT			
82			アイヌコブスジコガネ	○									NT			
83		ナガハナノミ	タテスジヒメヒゲナガ ハナノミ	○		○		・	・				DD			
84		タマムシ	ヤマトタマムシ			○	1,2	・	B				NT			
85		コメツキムシ	ミヤマヒサゴコメツキ	○									NT			
86		ホタル	ゲンジボタル			○	1	・	C	○			NT			
87			ヒメボタル	○		○		・	・				NT			
88			スジグロボタル	○		○			・	・			NT			
89			オオマドボタル	○									DD			
90		オオキノコムシ	クロホシチビオオキノコ	○		○	1	・	・				DD			
91		ツチハンミョウ	ムラサキオオツチ ハンミョウ	○									NT			
92		カミキリムシ	ヤマトキモンハナ カミキリ			○		・	・				VU			
93			ヨツボシカミキリ			○		・	・			EN	CR+EN			
94		ハムシ	ベニカメノコハムシ	○		○		・	・				NT			
95			タグチホソヒラタハムシ	○		○		・	・				VU			
96			シラハタミズクサハムシ	○		○			・	・			VU			
97		ヒゲナガゾウムシ	エゴヒゲナガゾウムシ			○		・	・				DD			
98		ハチ	ギングチバチ	ササキリギングチ			○		・	・			NT			
99			アリマキバチ	ミヤギノヨコバイバチ			○		・	・			VU			
100			ヒメハナバチ	エチゼンヒメハナバチ	○								NT			
101			コハナバチ	アオスジハナバチ			○	1,2	・	・				CR+EN		
102			ハキリバチ	マイマイツツハナバチ	○		○	1	・	・			DD	VU		
103	コマユバチ		ウマノオバチ			○		・	・				NT			
合計	8目	50科	103種	52種	21種	88種	44種	13種	36種	22種	34種	76種	0種	0種		

注) 使用した文献は以下のとおりである。

- ① 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(平成 28 年、宮城県)
- ② 「宮城県トンボ目録」(平成 29 年、柳田則明 著)
- ③ 「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(平成 29 年、仙台市)

これらの文献は宮城県全域または仙台市全域を対象としていることから、確認位置に仙台市青葉区・太白区・泉区、川崎町の記載がある種を抽出した。ただし、これらの市区及び町内であっても詳細な確認位置が明らかに調査区域外であるものは除いた。

種名及び整列順は「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書(資料編) 仙台市野生生物目録」(平成 29 年、仙台市)に準拠した。

減少種については EX、A、B、C に該当する種数を合計した。

※ オオウスバカゲロウは仙台市の環境指標種に指定されているが、指標する環境の内容が「人手の入らない自然な海岸砂丘」とされていることから、合計には含めていない。

2) 保全上重要な動物の生息地の状況

調査範囲における注目すべき動物の生息地位置は図 6.1.4-4 に示すとおりである。

「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年、仙台市）では、表 6.1.4-1 に示す選定基準により「動物生息地として重要な地域」を表 6.1.4-17 のとおり選定している。

また、環境省が平成 28 年に選定した「生物多様性保全上重要な里地里山」は表 6.1.4-9 のとおりであり、その位置は動物の生息地としても重要な地域である。

なお、事業計画地及び土地改変範囲には「奥羽山脈から大倉・芋沢丘陵地域への緑の回廊」、「奥羽山脈から青葉山丘陵地域への緑の回廊」、「奥武士・大倉地区」、「西田中地区」、「秋保地区」等が存在する。

表 6.1.4-17(1) 動物生息地として重要な地域

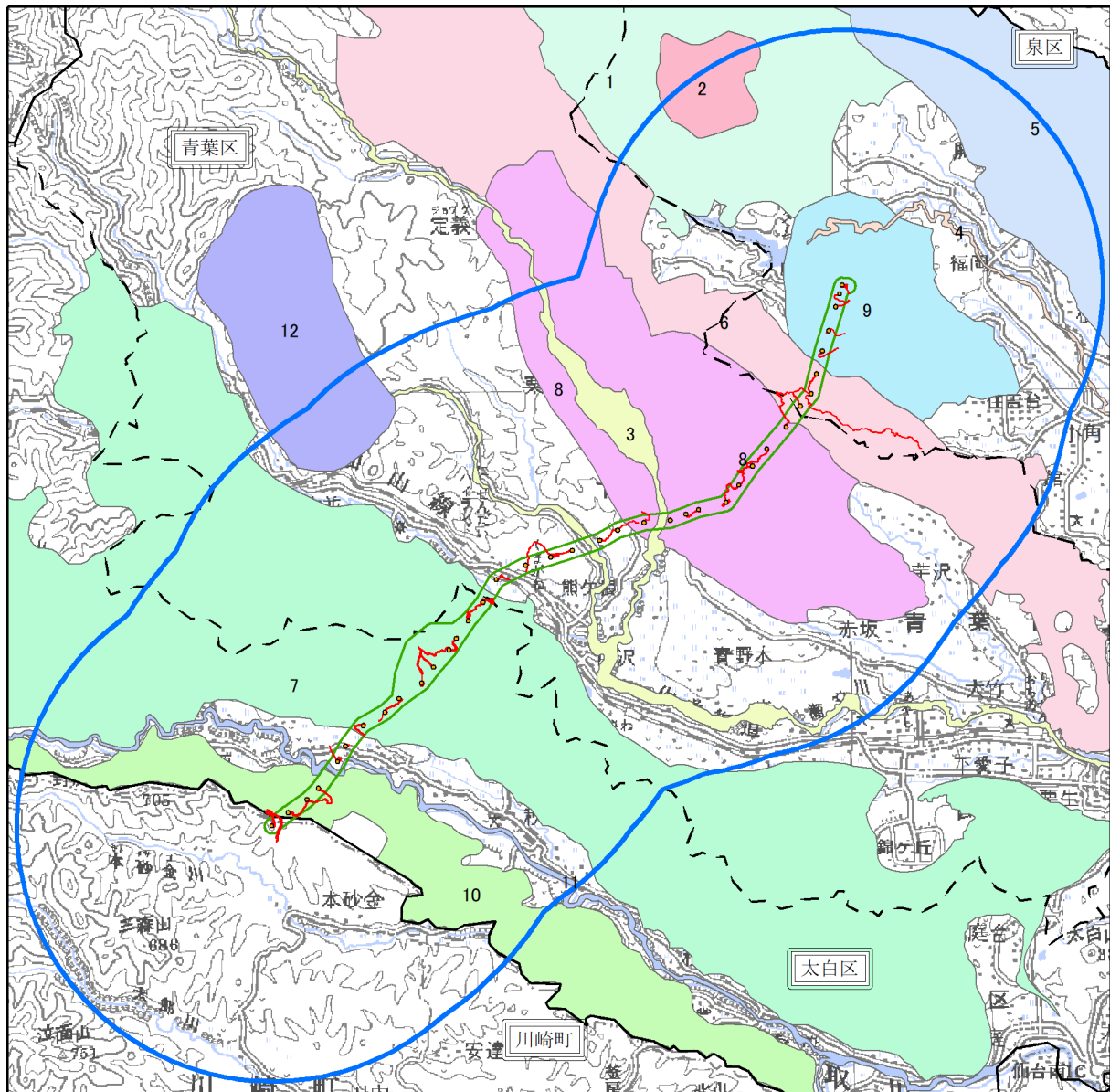
No.	地域名	対象	備考
1	泉ヶ岳・北泉ヶ岳	昆虫類	県立自然公園船形連峰。野生動植物のハビタットとして重要。県内でも代表的なチョウ類の生息地、ブナ林に依存する貴重なチョウ類の生息。
2	泉ヶ岳芳の平	昆虫類	県立自然公園船形連峰。野生動植物のハビタットとして重要。シジミチョウ類の多産、ハッチョウトンボの生息。
3	広瀬川 (中～下流域)	鳥類	広瀬川の清流を守る条例の環境保全区域。野生動植物のハビタット、生態系回廊(生態系コリドー)として重要。中流部は森林性から草地、水辺の鳥まで豊富。下流部は、オジロワシ、オオタカ等の猛禽類やキジ類の草地性鳥類。アオジの生息及び繁殖。
4	七北田川 (中流域～河口)	哺乳類・ 鳥類	野生動植物のハビタット、生態系回廊(生態系コリドー)として重要。川に接する地域の環境変化が著しく、動物の生息環境・移動経路としての重要性がとて大きくってきている。河川周辺のヨシ原はオオセッカ等希少な鳥類が生息する重要な自然になっている。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。
5	泉ヶ岳から根白石への緑の回廊	動物全般	市街地の北部に位置する。野生動植物のハビタット、生態系回廊(生態系コリドー)として重要。植物及び動物の生物種の多様性を維持するための地域として保護する必要がある。根白石(朴沢・実沢・福岡)地区は No.9 の西田中地区とともに環境省が全国で 500 箇所を選定する「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定されている。
6	奥羽山脈から大倉・芋沢丘陵地域への緑の回廊	動物全般	市街地の中央部から北西にかけて位置する。野生動植物のハビタット、生態系回廊(生態系コリドー)として重要。植物及び動物の生物種の多様性を維持するための地域として保護する必要がある。
7	奥羽山脈から青葉山丘陵地域への緑の回廊	動物全般	市街地の南部に位置する。野生動植物のハビタット、生態系回廊(生態系コリドー)として重要。植物及び動物の生物種の多様性を維持するための地域として保護する必要がある。

表 6. 1. 4-17(2) 動物生息地として重要な地域

No.	地域名	対象	備考
8	奥武士・大倉地区	動物全般	市街地の西部に位置し、里地・里山植生が良好な状態で残されており、動植物のハビタットとして重要。水田やため池、山林、山地草原のススキ原等がモザイク状に分布する土地利用が維持され、トウホクサンショウウオやヒメギフチョウなどの希少な動物の生息が確認されるほか、豊かな里地里山生態系のシンボルであるサシバの生息も確認されている。環境省が全国で500箇所を選定する「生物多様性保全上重要な里地里山」にも選定されている。
9	西田中地区	動物全般	市街地の北西部に位置し、里地・里山植生が良好な状態で残されており、動植物のハビタットとして重要である。手入れの行き届いた二次林や植林、農地等がモザイク状に分布する土地利用が維持され、サンショウクイやアオハダトンボなどの希少な動物の生息が確認されるほか、豊かな里地里山生態系のシンボルであるサシバの生息も確認されている。No.5に含まれる根白石（朴沢・実沢・福岡）地域とともに環境省が全国で500箇所を選定する「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定されている。
10	秋保地区	動物全般	県立自然公園二口峡谷。市街地の南西部に位置し、里地・里山植生が良好な状態で残されている。野生動植物のハビタット、環境学習のフィールドとして重要。
11	名取川（上～中流域）	鳥類・魚類	上流は蔵王国定公園、県立自然公園二口峡谷。野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。
12	作並地区	動物全般	県立自然公園船形連峰。市街地の西部に位置し、野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。

注) No. は図 6. 1. 4-4 の図中番号に対応する。

「平成28年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成29年、仙台市）より作成



「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年、仙台市）
 「生物多様性保全上重要な里地里山」（環境省 HP）より作成

凡 例

- | | | |
|--|--|--|
| 事業計画地 | 1, 泉ヶ岳・北泉ヶ岳 | 7, 奥羽山脈から青葉山丘陵地域への緑の回廊 |
| 土地改変範囲 | 2, 泉ヶ岳芳の平 | 8, 奥武士・大倉地区 |
| ● 鉄塔予定地 | 3, 広瀬川（中～下流域） | 9, 西田中地区 |
| 概況調査範囲 | 4, 七北田川（中流域～河口） | 10, 秋保地区 |
| 市町境 | 5, 泉ヶ岳から根白石への緑の回廊 | 11, 名取川（上～中流域） |
| 区境 | 6, 奥羽山脈から大倉・芋沢丘陵地域への緑の回廊 | 12, 作並地区 |

注) 図中番号は表 6.1.4-17 の No. に対応する。

表 6.1.4-9 の a は図中番号 8、b は図中番号 9 と同じである。

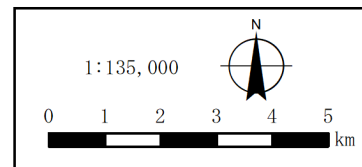


図 6.1.4-4 注目すべき動物の生息地位置

(3) 生態系

調査範囲の地形は、河岸段丘を縦断しているため大部分が丘陵地であり、そのほとんどが落葉広葉樹林で占められている。水域は七北田ダム、大倉ダム等のダム湖や七北田川、広瀬川、名取川等の河川が分布する。河川沿いの一部には耕作地や水田地帯が分布し、里山地帯を形成している。

調査範囲に広く分布する落葉広葉樹林では、クマタカやイヌワシ等の猛禽類を頂点とする様々な動植物の生息・生育場所となっており、奥羽山脈から繋がる生態系回廊（生態系コリドー）として重要である。中でも泉ヶ岳は県立自然公園に指定されており、ブナ林に依存する貴重なチョウ類の生息地となっている。

ダム湖や河川沿いにはヤナギ高木群落やヤナギ低木群落が分布し、水辺環境に依存する動植物の生息・生育場所となっているほか、河川は動物の重要な移動経路となっていると考えられる。広瀬川流域は「広瀬川の清流を守る条例の環境保全区域」に指定されており、中流域では森林性から草地性、水辺まで、様々な鳥類が豊富に生息している。

里山地帯では耕作地・植林地植生が広がっており、オオタカやサシバ等の猛禽類を頂点として、ノウサギ、タヌキ等の中型哺乳類やニホンアカガエル、ヤマカガシ等の両生類・爬虫類等、多様な動植物の生息・生育場所となっている。

このように、事業計画地の周辺は樹林帯を主として、水辺環境や里山地帯等、多様な生物基盤が分布する、自然度の高い地域であると考えられる。

6.1.5 景観等

(1) 景観

1) 自然的景観資源及び文化的景観資源の状況

調査範囲における主要な自然的景観資源及び文化的景観資源は、表 6.1.5-1～3、位置は図 6.1.5-1～2に示すとおりである。

調査範囲には、自然的景観資源として鳳鳴四十八滝、新川・奥新川溪谷等25箇所、文化的景観資源として国指定の名勝秋保大滝や仙台市指定文化財の小滝沢橋等24箇所があげられる。

なお、事業計画地には、自然的景観資源として「白岩(上流)」、「花輪川」、「広瀬川中流熊ヶ根棒目木間」、「落合・愛子・白沢広瀬川畔」が存在し、文化的景観資源は存在しない。このうち土地改変範囲には「落合・愛子・白沢広瀬川畔」が存在する。

表 6.1.5-1(1) 自然的景観資源

No.	名称	種別	概要	見られ方	所在地	文献
1	鳳鳴四十八滝	滝	県立自然公園二口峡谷。作並-屋敷平良断層線の走る位置にかかる。本流滝一文字状落差30m	近	青葉区作並字棒目木	①～④
2	名取川(秋保町長袋・館下橋付近)	河川	館下橋から上流を望むと、遠く二口の間山々が、下流側には、山々の木々が川に寄り添うように林立し、川原には、とがった二つの三角の岩がある。	近・中	太白区秋保町長袋付近	②
3	秋保大滝	滝	幅6m落差55mの文字通りの大滝で、日本三名瀑の一つ。	近	太白区秋保町馬場字大滝西向	①、②、④
4	白岩	断崖・絶壁	県立自然公園二口峡谷。延長1,000m、比高100m凝灰岩	近・中	太白区秋保町字馬場	①、②
5	白岩(上流)	断崖・絶壁	県立自然公園二口峡谷。延長900m、比高60m凝灰岩	近・中	太白区秋保町字馬場	①
6	光明の滝	滝	七北田川の支流である長谷倉川上流の静かな山の中にある隠れた名滝の一つ。	近	泉区朴沢字下平	②
7	七北田ダム周辺	河川	泉ヶ岳に建設された石積み式のダム。ダムの前の道路沿いには公園が整備されて、多くの人が訪れ身近な自然に親しんでいる。	近・中	泉区福岡字蒜但木	②
8	花輪川	河川	花輪地区を流れて七北田川に注ぐ川。川沿い上流には岩肌が白く続いている崖を見ることができる。	近・中	泉区根白石	②
9	七北田川	河川	七北田川は泉ヶ岳に源を発し、長谷倉川と合流する辺りから「鼻毛橋」にかけて、水田地帯の中をゆったりと流れている。鼻毛橋上流にある「今宮堰」も水と緑が織りなす四季の美しさを楽しめる。	近・中	泉区小角～根白石	②
10	戸神山	非火山性孤峰	県立自然公園二口峡谷。白沢峠の西にそびえる火山岩頭。山頂からの景観も優れる。標高504.4m、比高144m	近・中・遠	太白区秋保町長袋	①
11	鎌倉山	非火山性孤峰	県立自然公園二口峡谷。火山岩頭で中腹から山頂にかけて岩頭をなす。古くから一帯の名勝として知られる。標高520.0m、比高240m	近・中・遠	青葉区作並	①
12	名取川支流本砂金川	峡谷・溪谷	県立自然公園二口峡谷。延長3.2km、巾200～300m、深さ50～150m	近・中	太白区秋保町長袋	①

表 6.1.5-1(2) 自然的景観資源

No.	名称	種別	概要	見られ方	所在地	文献
13	名取川中流大滝付近	峡谷・溪谷	県立自然公園二口峡谷。延長3.2km、巾200～300m、深さ50～150m	近・中	太白区秋保町馬場	①
14	二口溪谷	峡谷・溪谷	県立自然公園二口峡谷。大行沢は上半部は滑状の美しい沢床の明るい溪谷、二口沢は屈曲の少ないV字谷。	近・中	太白区秋保町馬場	①
15	穴道沢溪谷	峡谷・溪谷	県立自然公園二口峡谷。東大第の北面及び東面を源頭とする。大東岳東面の壮大な壁を眺めることができる。延長4.8km、巾200～350m、深さ100～250m	近・中	太白区秋保町馬場	①
16	新川・奥新川溪谷	峡谷・溪谷	県立自然公園二口峡谷。南沢の金剛沢は多くの滝が連なり、岩像沢は沢全体が滑状、新川は、釜、淵、河床滝と変化に富み特に八森付近の景観が優れる。延長18km、巾300～600m、深さ100～300m	近・中・遠	青葉区新川八森	①
17	仙台市白沢・広瀬川中流付近	峡谷・溪谷	延長3.9km、巾80～150m、深さ80～100m	近・中	青葉区上愛子大道～芋沢新田	①
18	広瀬川中流熊ヶ根棒目木間	峡谷・溪谷	棒目木付近では狭い地形の中を流れ、垂直的变化が大きく大小の滝が連なる。延長3.8km、巾200～300m、深さ100～200m	近・中	青葉区熊ヶ根棒目木	①、②
19	大倉川大倉ダム下流	峡谷・溪谷	延長1.0km、巾200m、深さ100～150m	近・中	青葉区大倉岩下	①
20	根白石七北田川中流	河成段丘	県立自然公園船形連峰。段丘崖に残された植生は貴重な自然的景観である。延長5.0km、段数1、比高30～80m	近・中	泉区根白石	①
21	落合・愛子・白沢広瀬川畔	河成段丘	数段にわたる典型的な河成段丘の景観。段丘崖に残された植生は貴重な自然的景観である。延長13.0km、段数4～5、比高50～100m	近・中・遠	青葉区熊ヶ根棒目木～栗生	①
22	広瀬川上流新川畔	河成段丘	県立自然公園二口峡谷。延長3.8km、段数1、比高50m	近・中	山形市山寺～仙台市青葉区新川	①
23	名取川支流穴道沢中部	滝	本流滝 一文字状 落差30m	近	太白区秋保町馬場	①
24	大倉山	非火山性孤峰	県立自然公園二口峡谷。標高432.7m、比高212m	近・中・遠	太白区秋保町長袋	①
25	作並大沼	湿原	県立自然公園船形連峰。低層湿原、面積13ha、外周長1,270m	近	青葉区作並	①

注) 1. No. は図 6.1.5-1の図中番号に対応する。

2. 使用した文献は以下のとおりである。

- ① 「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」 (平成29年、仙台市)
- ② 「杜の都・仙台 わがまち緑の名所100選」 (令和2年2月7日更新、仙台市)
- ③ 「みやぎ・身近な景観百選」 (平成24年、宮城県)
- ④ 「仙台観光マップ」 (平成27年、仙台観光国際協会)

表 6.1.5-2 文化的景観資源の状況（指定文化財）

No.	名称	種類	指定状況	所在地	指定年月日
1	宇那禰神社本殿附棟札5枚	建造物	市指定	青葉区芋沢字明神12	昭和47年12月27日
2	小滝沢橋			太白区秋保町馬場字駅	昭和58年8月1日
3	旧熊谷家住宅			泉区福岡字岳山9-5	昭和61年4月1日
4	旧石垣家住宅附土蔵(米蔵)1棟			青葉区大倉字若林14-2	平成6年3月29日
5	栽松院墓所	史跡	市指定	泉区根白石字館下	昭和43年3月1日
6	秋保大滝	名勝	国指定	太白区秋保町馬場字大滝地内	昭和17年3月7日
7	鷺倉神社の姥杉	天然記念物	県指定	泉区福岡字小山19-2	平成10年1月16日
8	泉ヶ岳のミズバショウほか湿生植物群生地		市指定	泉区福岡字岳山	昭和40年5月12日
9	常正寺の大銀杏		川崎町指定	川崎町本砂金字山崎46	昭和60年10月24日

注) No. は図 6.1.5-2の図中番号に対応する。

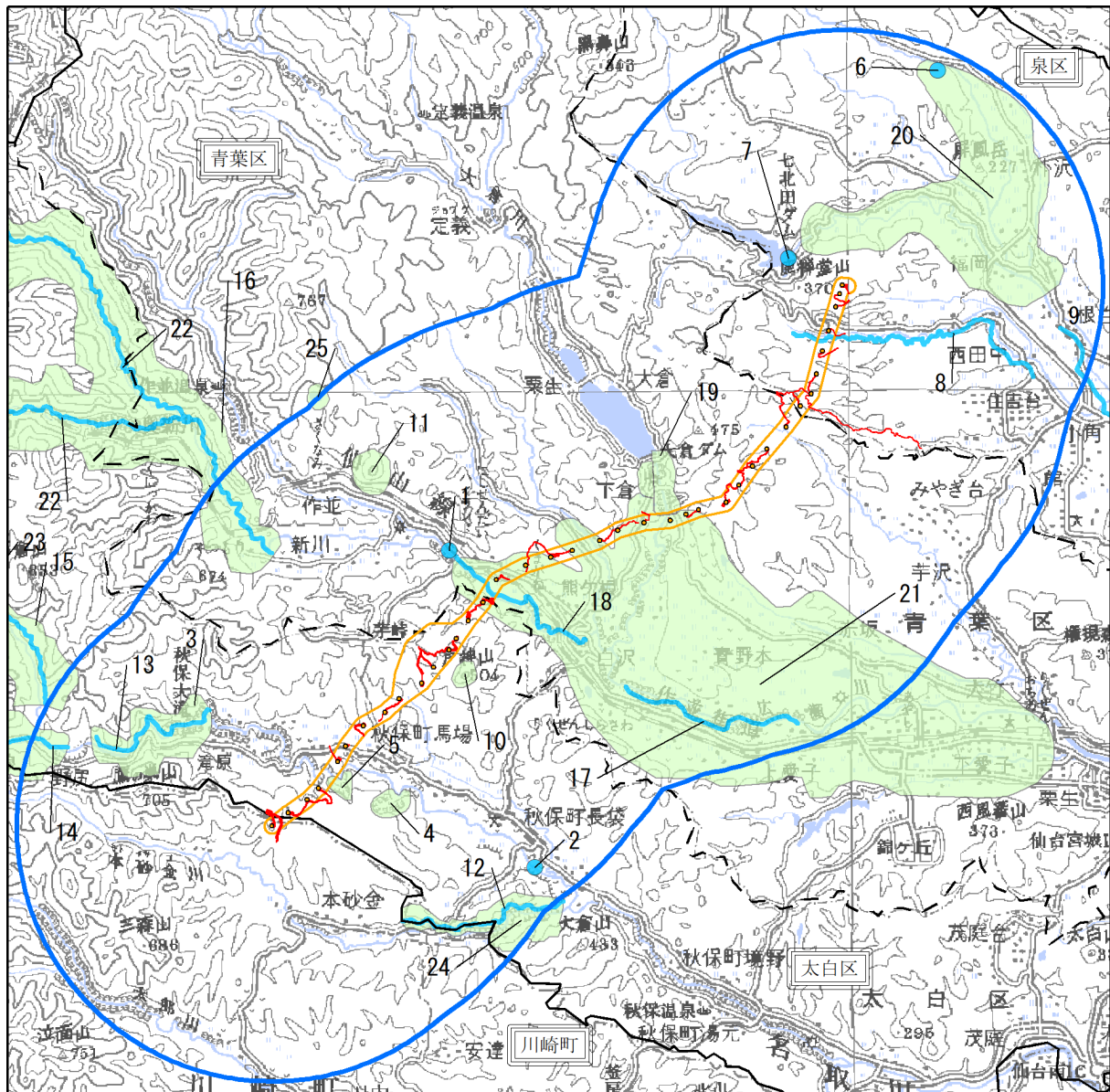
「令和2年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（令和3年3月、仙台市）等より作成

表 6.1.5-3 文化的景観資源の状況（登録文化財）

No.	名称	種類	登録状況	所在地	指定年月日
1	青下第1ダム	建造物	国登録	青葉区熊ヶ根字大原道17-2地先	平成11年7月19日
2	青下第1ダム取水塔			青葉区熊ヶ根字大原道17-2地先	平成11年7月19日
3	青下隧道入口			青葉区大倉字大原新田12-7地先	平成11年7月19日
4	青下第2ダム			青葉区熊ヶ根字大原道27-2地先	平成11年7月19日
5	青下第3ダム			青葉区大倉字前原1-2地先	平成11年7月19日
6	青下量水堰			青葉区大倉字西原38地先	平成11年7月19日
7	青下ダム旧管理事務所			青葉区熊ヶ根字大原道18地先	平成11年7月19日
8	青下ダム記念碑			青葉区熊ヶ根字大原道18地先	平成11年7月19日
9	中原系苦地取水口			青葉区芋沢字中田西29-1地先	平成11年7月19日
10	中原浄水場旧管理事務所			青葉区芋沢字中原24地先	平成11年7月19日
11	菊地家住宅主屋			青葉区芋沢	平成12年5月25日
12	菊地家住宅隠居所			青葉区芋沢	平成12年5月25日
13	菊地家住宅板倉			青葉区芋沢	平成12年5月25日
14	菊地家住宅土蔵			青葉区芋沢	平成12年5月25日
15	大滝不動堂	建造物	市登録	太白区秋保町馬場字大滝11	平成7年9月5日

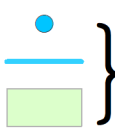
注) No. は図 6.1.5-2の図中番号に対応する。

「令和2年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（令和3年3月、仙台市）より作成



凡例

- 事業計画地
- 土地改変範囲
- 鉄塔予定地
- 概況調査範囲
- 市町境
- 区境



「令和2年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」
 (令和3年3月、仙台市)
 「杜の都・仙台 わがまち緑の名所100選」
 (令和2年2月7日更新、仙台市)
 「みやぎ・身近な景観百選」(平成24年、宮城県)
 「仙台観光マップ」(平成27年、仙台観光国際協会)より作成
 自然的景観資源

注) 図中番号は表 6.1.5-1 のNo.に対応する。

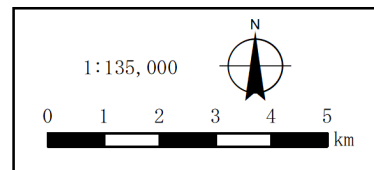
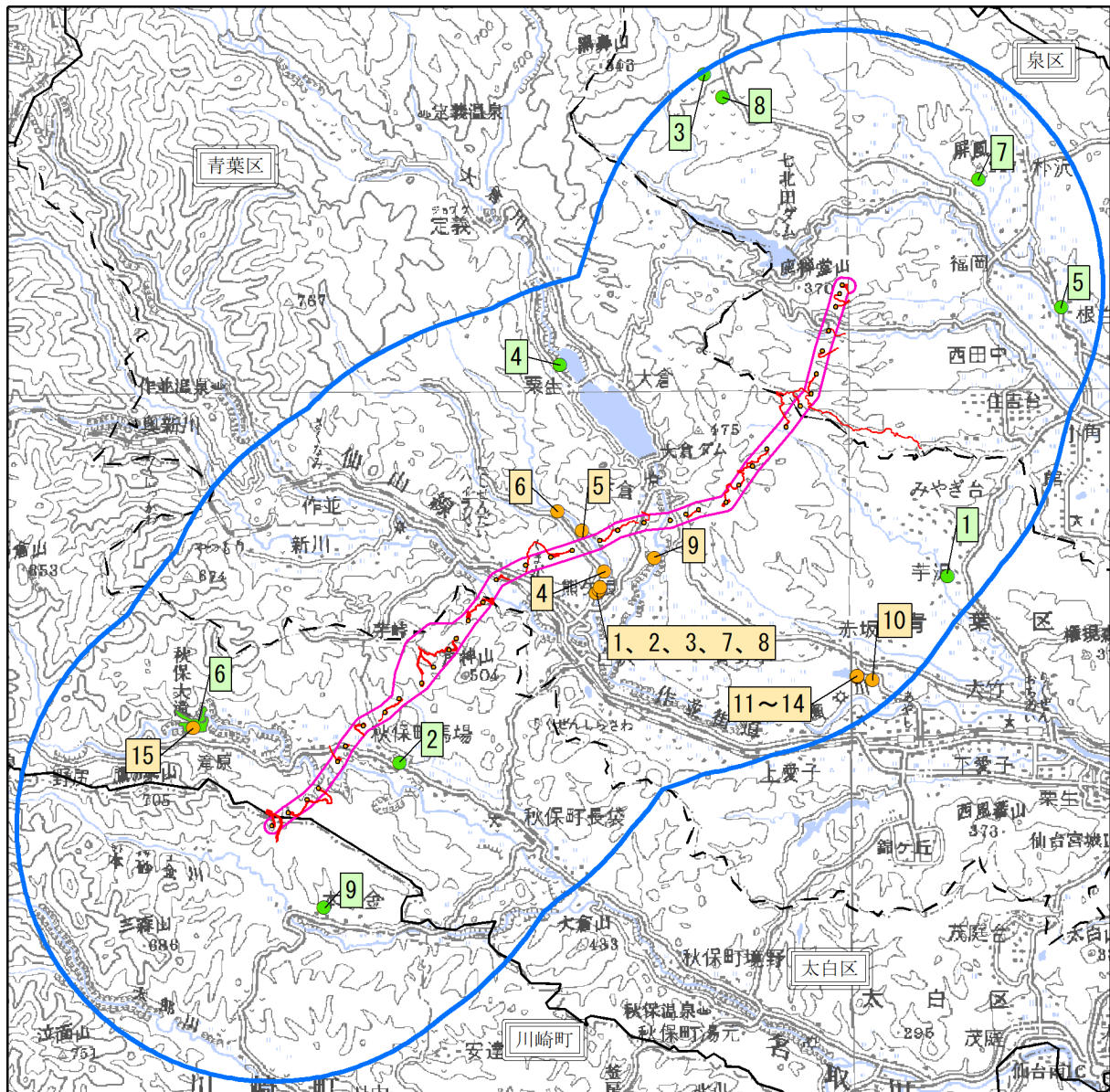


図 6.1.5-1 自然的景観資源の位置



凡例

- 事業計画地
- 土地改変範囲
- 鉄塔予定地
- 概況調査範囲
- 市町境
- 区境
- } 文化的景観資源 (指定文化財)
- } 文化的景観資源 (登録文化財)

「令和2年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」
(令和3年3月、仙台市)等より作成

注) 図中番号は表 6.1.5-2~3 のNo.に対応する。

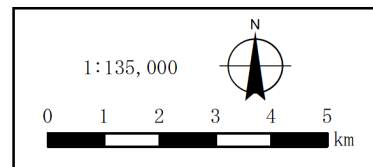


図 6.1.5-2 文化的景観資源の位置

2) 眺望点の状況

調査範囲の主要な眺望点は、表 6.1.5-4、位置は図 6.1.5-3に示すとおりである。

調査範囲には主要な眺望点として、戸神山、秋保大滝等の公園レクリエーション施設等の16地点、熊ヶ根等の8集落が存在する。

表 6.1.5-4(1) 主要な眺望点

区分	No.	名称	概要	所在地	文献等
公園・レクリエーション施設等	1	屏風岳 (北東約 3km)	当初の「鷲倉神社」は屏風岳の山頂あったが、高所にあり強風で壊れやすく、改築のたびに東方へ移り、峰続きの現在地に落ち着いたといわれている。	泉区福岡小山	②
	2	戸神山 (南東約 0.2km)	県立自然公園二口峡谷。白沢峠の西にそびえる火山岩頸。山頂からの景観も優れる。標高504.4m、比高144m	太白区秋保長袋	①
	3	鎌倉山 (北西約 3.5km)	県立自然公園二口峡谷。仙台から作並温泉に向かう国道48号沿いで、ゴリラの頭に似た通称ゴリラ山。	青葉区作並	①、⑤
	4	鷹巣山 (西約 2km)	仙台市と柴田郡川崎町にまたがる標高705mの山。	川崎町本砂金	⑥
	5	森の駅 (南東約 5km)	産地直送朝採り野菜や、山の恵みの天然山菜・きのこなど森の駅会員農家が生産した旬の味。	青葉区上愛子上遠野原 1-5	⑥
	6	ニッカウキスキー仙台工場 (北西約 2.5km)	ウイスキーの製造工程やニッカウキスキーの歴史について見学できる宮城峡蒸溜所がある。	青葉区ニツカ 1	③
	7	秋保大滝パノラマのみち	大滝駐車場から秋保大滝までの1km間。途中に秋保大滝植物園、秋保大滝不動尊がある。	太白区秋保町馬場字大滝	④
	8	宇那禰神社 (南東約 2km)	室町時代から続く古社神社、本殿と棟札5枚、スギ4本、ヒノキ1本が仙台市文化財に指定。	青葉区芋沢明神 8	①
	9	秋保神社 (南東約 2km)	平安初期に熊野神社を祀ったのが初めと伝えられ、諏訪神社の御神霊をこの地に勧請して祈願所とし「戦の神」として崇拝されるようになった。	太白区秋保町長袋清水久保北 22	③
	10	大倉ふるさとセンター (北西約 3km)	大倉地区の豊かな自然と暮らしの歴史を活かした「自然体験」や「生活体験」の場を提供するために開設された仙台市の施設。	青葉区大倉若林 14-2	②、③
	11	七北田ダム公園 (北約 1km)	ダムの前を通っている道路沿いには公園が整備されている。	泉区福岡字蒜但木	②
	12	大倉ダム (大倉湖畔公園) (北約 1km)	ダム湖のほとりのサクラ並木、ダム下流の公園にもサクラがあり花見を楽しむことができる。	青葉区大倉字岩下	②
	13	秋保大滝植物園 (西約 1.5km)	宮城県内の山地や山麓の草木を中心に植物を植栽展示。園内には炭焼き小屋やすだれ滝もあり、四季折々の自然観察や散策の場として最適。	太白区秋保町馬場字大滝 5	②、③
	14	鳳鳴四十八滝 (北西約 1.5km)	県立自然公園二口峡谷。作並-屋敷平良断層線の走る位置にかかる。本流滝一文字状落差30m。	青葉区作並字棒目木	①～③
	15	秋保大滝 (西約 1.5km)	幅6m落差55mの文字通りの大滝で、日本三名瀑の一つ。	太白区秋保町馬場字大滝	①～③

表 6.1.5-4(2) 主要な眺望点

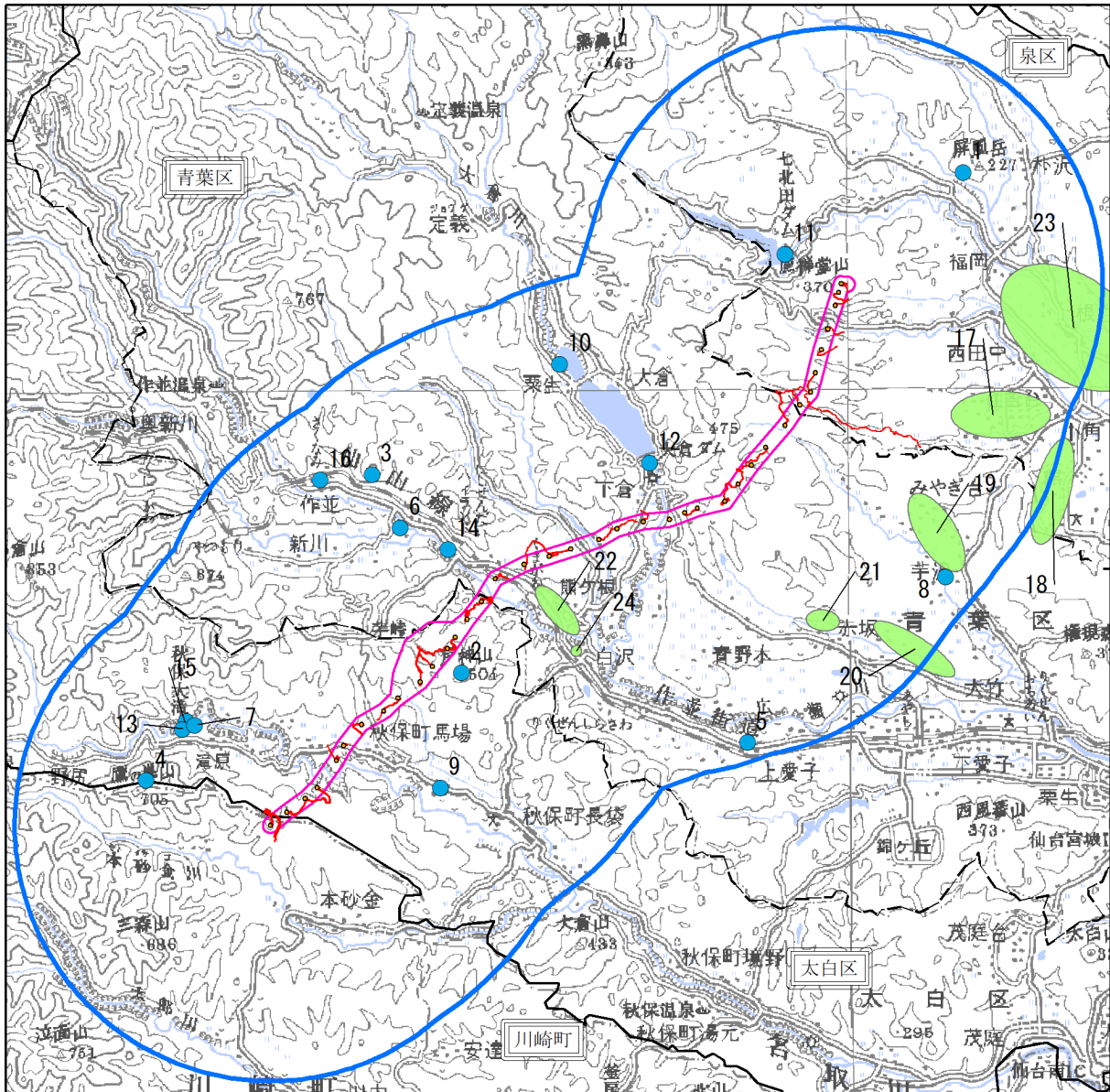
区分	No.	名称	概要	所在地	文献等
公園・レクリエーション施設等	16	作並駅 (北西約 4km)	作並駅には、交流電化発祥の地を示す看板と石碑及び機関区跡の転車台が残置。	青葉区作並字相ノ沢	③
既存集落	17	住吉台 (東約 2.5km)	計画地周辺の居住地。	泉区住吉台	
	18	館 (南東約 4km)	計画地周辺の居住地。	泉区館	
	19	みやぎ台 (南東約 2.5km)	計画地周辺の居住地。	青葉区みやぎ台	
	20	高野原 (南東約 3.5km)	計画地周辺の居住地。	青葉区高野原	
	21	赤坂 (南東約 2.5km)	計画地周辺の居住地。	青葉区赤坂	
	22	熊ヶ根 (南東約 0.5km)	計画地周辺の集落。	青葉区熊ヶ根	
	23	根白石 (東約 3km)	計画地周辺の集落。	泉区根白石	
	24	上愛子道半 (南約 1.5km)	計画地周辺の集落。	青葉区上愛子字道半	

注) 1.No. は図 6.1.5-3の図中番号に対応する。

2. 名称の()は最寄送電線路からの方向と距離を示す。

3. 使用した文献は以下のとおりである。

- ①「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(平成29年、仙台市)
- ②「杜の都・仙台 わがまち緑の名所100選」(令和2年2月7日更新、仙台市)
- ③「仙台観光マップ」(平成27年、仙台観光国際協会)
- ④「新・奥の細道 宮城の自然歩道」(平成24年、宮城県)
- ⑤「せんだいくらしのマップ」(仙台市)
- ⑥聞き取り等



凡例

- 事業計画地
- 土地改変範囲
- 公園・レクリエーション施設等
- 既存集落
- 鉄塔予定地
- 概況調査範囲
- 市町境
- 区境

「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成 29 年、仙台市）
 「杜の都・仙台 わがまち緑の名所 100 選」（令和 2 年 2 月 7 日更新、仙台市）
 「仙台観光マップ」（平成 27 年、仙台観光国際協会）より作成

注) 図中番号は表 6.1.5-4 のNo.に対応する。

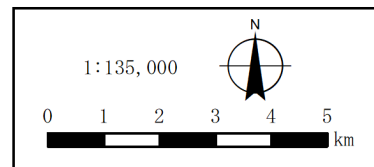


図 6.1.5-3 主要な眺望点位置

(2) 自然との触れ合いの場

調査範囲における自然との触れ合いの場は、表 6.1.5-5～6及び図 6.1.5-4に示すとおりである。

調査範囲には、県立自然公園船形連峰、県立自然公園二口峡谷及び権現森緑地環境保全地域の指定がある他、都市公園が設定されている。なお、県自然環境保全地域の指定はない。

事業計画地及び土地改変範囲には、県立自然公園二口峡谷が指定されている。

表 6.1.5-5 自然との触れ合いの場（自然公園等）

区分	No.	名称	所在地
県立自然公園	1	県立自然公園船形連峰	仙台市・大和町・色麻町・加美町
	2	県立自然公園二口峡谷	仙台市
緑地環境保全地域	3	権現森緑地環境保全地域	仙台市

注) No. は、図 6.1.5-4の図中番号と対応する。

「国立・国定公園及び県立自然公園の指定状況」（宮城県HP）

「県自然環境保全地域・緑地環境保全地域の指定状況」（宮城県HP）より作成

表 6.1.5-6(1) 自然との触れ合いの場（都市公園）

公園種別	公園名	所在地
街区公園	愛子団地1号公園	青葉区上愛子字北原道上
街区公園	ニュー愛子団地公園	青葉区上愛子字北原道上
街区公園	みやぎ台1号公園	青葉区みやぎ台2丁目
街区公園	みやぎ台2号公園	青葉区みやぎ台4丁目
街区公園	みやぎ台運動公園	青葉区みやぎ台5丁目
街区公園	赤坂4号公園	青葉区赤坂3丁目
街区公園	みやぎ台3号公園	青葉区みやぎ台1丁目
街区公園	みやぎ台4号公園	青葉区みやぎ台4丁目
街区公園	赤坂1号公園	青葉区赤坂2丁目
街区公園	赤坂5号公園	青葉区赤坂1丁目
街区公園	赤坂2号公園	青葉区赤坂2丁目
街区公園	赤坂3号公園	青葉区赤坂3丁目
街区公園	みやぎ台5号公園	青葉区みやぎ台3丁目
街区公園	赤坂6号公園	青葉区赤坂1丁目
街区公園	北原道上公園	青葉区上愛子字北原道上
街区公園	松原西公園	青葉区上愛子字松原
街区公園	北原道上東公園	青葉区上愛子字北原道上
街区公園	街道西公園	青葉区上愛子字街道
街区公園	街道東公園	青葉区上愛子字街道
街区公園	街道5号公園	青葉区上愛子字街道
街区公園	松原北公園	青葉区上愛子字松原
街区公園	高野原三丁目公園	青葉区高野原3丁目
街区公園	堀切公園	青葉区上愛子字堀切
街区公園	松原公園	青葉区上愛子字松原
街区公園	高野原四丁目公園	青葉区高野原4丁目
街区公園	上遠野原公園	青葉区上愛子字上遠野原
街区公園	北原道上北公園	青葉区上愛子字北原道上
街区公園	みやぎ台二丁目南公園	青葉区みやぎ台2丁目
街区公園	みやぎ台三丁目南公園	青葉区みやぎ台3丁目

表 6.1.5-6(2) 自然との触れ合いの場（都市公園）

公園種別	公園名	所在地
街区公園	北原道上南公園	青葉区上愛子字北原道上
街区公園	高野原二丁目公園	青葉区高野原2丁目
街区公園	上愛子車北公園	青葉区上愛子字車
街区公園	大倉ダム下公園	青葉区大倉字岩下
街区公園	館三丁目西公園	泉区館3丁目
街区公園	館三丁目公園	泉区館3丁目
街区公園	館三丁目北公園	泉区館3丁目
街区公園	館ゆりのき公園	泉区館3丁目
街区公園	館四丁目公園	泉区館4丁目
街区公園	住吉台東一丁目公園	泉区住吉台東1丁目
街区公園	住吉台東一丁目東公園	泉区住吉台東1丁目
街区公園	住吉台東二丁目公園	泉区住吉台東2丁目
街区公園	住吉台東三丁目公園	泉区住吉台東3丁目
街区公園	住吉台東四丁目公園	泉区住吉台東4丁目
街区公園	住吉台東五丁目公園	泉区住吉台東5丁目
街区公園	住吉台西一丁目公園	泉区住吉台西1丁目
街区公園	住吉台西二丁目公園	泉区住吉台西2丁目
街区公園	住吉台西三丁目公園	泉区住吉台西3丁目
街区公園	住吉台西三丁目北公園	泉区住吉台西3丁目
街区公園	住吉台西四丁目北公園	泉区住吉台西4丁目
街区公園	住吉台西四丁目東公園	泉区住吉台西4丁目
街区公園	館四丁目見晴らし公園	泉区館4丁目
近隣公園	大倉ダム湖畔公園	青葉区大倉字樋渡
近隣公園	住吉台西四丁目公園	泉区住吉台西4丁目
都市緑地	赤坂緑地	青葉区赤坂2丁目
都市緑地	高野原緑地	青葉区高野原2丁目
都市緑地	みやぎ台一丁目3号緑地	青葉区みやぎ台1丁目
都市緑地	みやぎ台二丁目1号緑地	青葉区みやぎ台2丁目
都市緑地	みやぎ台二丁目2号緑地	青葉区みやぎ台3丁目
都市緑地	みやぎ台二丁目3号緑地	青葉区みやぎ台2丁目
都市緑地	みやぎ台二丁目4号緑地	青葉区みやぎ台2丁目
都市緑地	みやぎ台三丁目1号緑地	青葉区みやぎ台3丁目
都市緑地	みやぎ台三丁目2号緑地	青葉区みやぎ台3丁目
都市緑地	みやぎ台三丁目3号緑地	青葉区みやぎ台3丁目
都市緑地	みやぎ台三丁目4号緑地	青葉区みやぎ台3丁目
都市緑地	みやぎ台四丁目1号緑地	青葉区みやぎ台4丁目
都市緑地	みやぎ台四丁目2号緑地	青葉区みやぎ台4丁目
都市緑地	みやぎ台五丁目1号緑地	青葉区みやぎ台5丁目
都市緑地	みやぎ台五丁目2号緑地	青葉区みやぎ台5丁目
都市緑地	みやぎ台五丁目3号緑地	青葉区みやぎ台5丁目
都市緑地	館緑地	泉区館5丁目
都市緑地	館四丁目緑地	泉区館4丁目
都市緑地	館四丁目西緑地	泉区館4丁目
緑道	館ゆりのき緑道	泉区館3丁目

「仙台市公園・緑地等配置図」（平成27年、仙台市）
「せんだいくらしのマップ」（仙台市）より作成

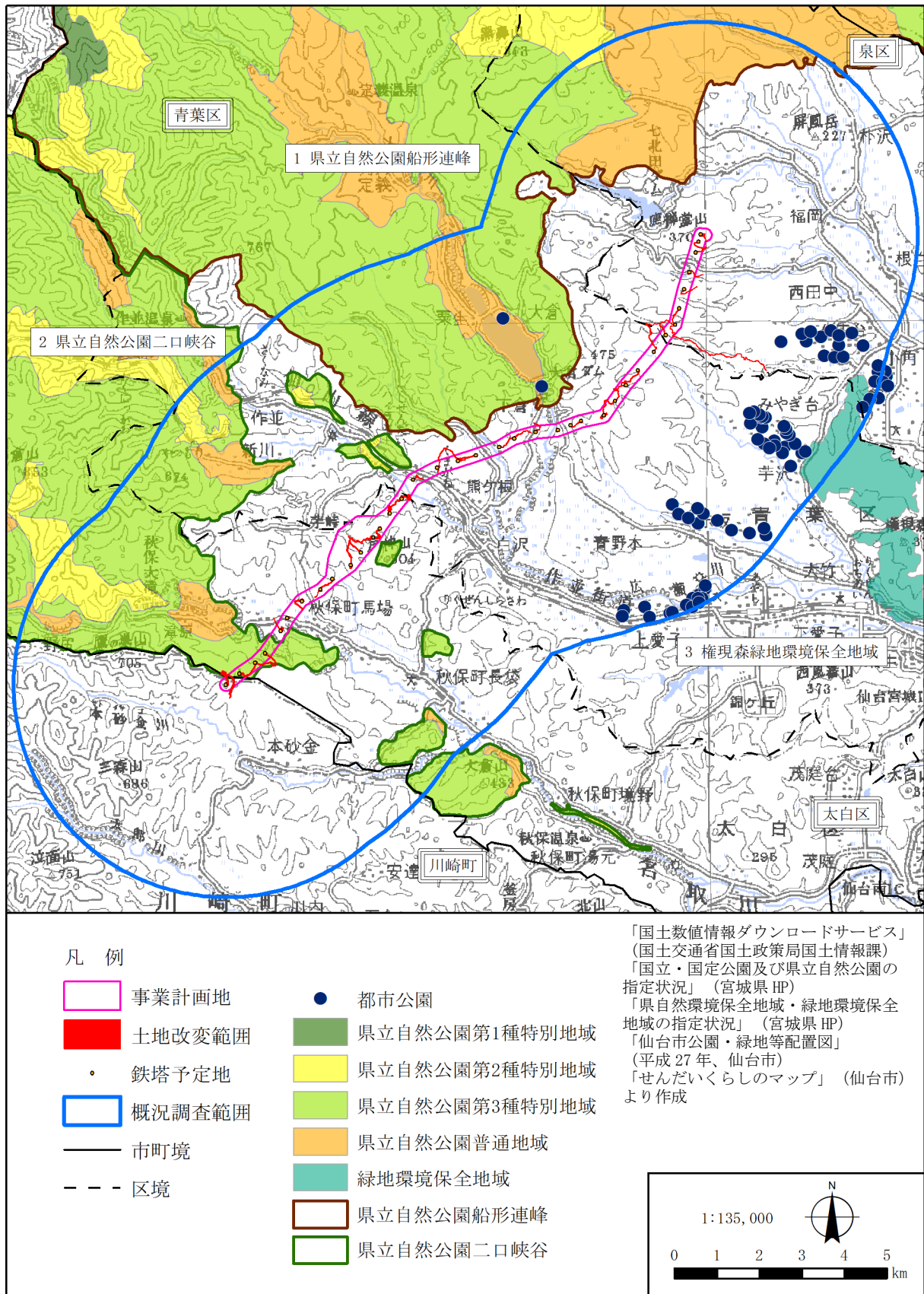


図 6.1.5-4 自然との触れ合いの場位置

(3) 文化財

調査範囲における指定文化財等は表 6.1.5-2～3、位置は図 6.1.5-2に示すとおりである。

調査範囲の指定文化財は、国指定名勝の秋保大滝、県指定天然記念物の鷺倉神社の姥杉、仙台市指定建造物の小滝沢橋等の6件、川崎町指定天然記念物の常正寺の大銀杏が存在する。そのほか国登録文化財が青下第1ダム等の14箇所、仙台市登録文化財の大滝不動堂が存在する。

事業計画地にはこれらの指定文化財等の指定はない。

(4) 埋蔵文化財包蔵地の状況

調査範囲における埋蔵文化財包蔵地は表 6.1.5-7、位置は図 6.1.5-5に示すとおりである。調査範囲には埋蔵文化財包蔵地が175箇所指定されている。

事業計画地には「大手門A遺跡」、「下大倉館跡」、「大手門B遺跡」、「大手門C遺跡」、「下ノ久保遺跡」が存在し、このうち土地改変範囲には「下大倉館跡」が存在する。

表 6.1.5-7(1) 埋蔵文化財包蔵地

No.	遺跡番号	遺跡名	所在地	種別	時代
1	21002	ほととぎす塚遺跡	青葉区 新川字清水頭	散布地	縄文
2	21003	花坂遺跡	青葉区 芋沢字花坂	散布地	縄文中
3	21005	矢籠遺跡	青葉区 大倉字矢籠	散布地	縄文晩
4	21008	畑沢遺跡	青葉区 新川字畑沢	散布地	縄文中・晩
5	21009	清水尻遺跡	青葉区 新川字清水尻	散布地	縄文中
6	21010	大手門A遺跡	青葉区 大倉字大手門	散布地	縄文前
7	21011	野川遺跡	青葉区 熊ヶ根字町	散布地	縄文草創・中・後
8	21012	東沢目遺跡	青葉区 大倉字東沢目・大原	散布地	縄文
9	21013	萱場遺跡	青葉区 大倉字萱場	散布地	縄文
10	21016	田尻遺跡	青葉区 芋沢字田尻	散布地	縄文中～晩
11	21017	上清水遺跡	青葉区 芋沢字下清水	散布地	縄文中
12	21018	青野木A遺跡	青葉区 芋沢字青野木	散布地	縄文
13	21019	青野木B遺跡	青葉区 芋沢字青野木	散布地	縄文
14	21020	青野木C遺跡	青葉区 芋沢字青野木	散布地	縄文中
15	21021	畑前A遺跡	青葉区 芋沢字畑前	散布地	縄文
16	21022	畑前B遺跡	青葉区 芋沢字畑前	散布地	縄文早・前
17	21023	赤坂遺跡	青葉区 芋沢字赤坂	散布地	縄文
18	21024	下野遺跡	青葉区 芋沢字下野	散布地	縄文晩
19	21025	中原遺跡	青葉区 芋沢字花坂	散布地	縄文
20	21026	松原遺跡	青葉区 上愛子字松原	散布地	縄文
21	21027	北原街道遺跡	青葉区 上愛子字街道	散布地	縄文前
22	21032	端応寺跡	青葉区 上愛子字倉内	寺院	近世
23	21033	熊ヶ根城跡	青葉区 熊ヶ根字町	城館	中世
24	21035	大倉栗生遺跡	青葉区 大倉字栗生	散布地	縄文
25	21036	大原館跡	青葉区 大倉字大原	城館	中世・近世
26	21037	下大倉館跡	青葉区 大倉字下倉	城館	中世・近世
27	21040	高野原遺跡	青葉区 芋沢字高野原	散布地	縄文
28	21041	満穂遺跡	青葉区 芋沢字下野下	散布地	縄文
29	21044	檀ノ原A遺跡	青葉区 熊ヶ根字檀ノ原	散布地	縄文・奈良・平安
30	21045	檀ノ原B遺跡	青葉区 熊ヶ根字檀ノ原	散布地	奈良・平安
31	21048	町A遺跡	青葉区 熊ヶ根字町	散布地	奈良・平安
32	21049	町B遺跡	青葉区 熊ヶ根字町	散布地	古代
33	21050	檀ノ原C遺跡	青葉区 熊ヶ根字町	散布地	縄文
34	21051	興禅寺五輪塔	青葉区 熊ヶ根字町	古碑	中世
35	21052	大貫遺跡	青葉区 大倉字大原	散布地	縄文
36	21053	大原遺跡	青葉区 大倉字大原	散布地	縄文
37	21054	大原新田遺跡	青葉区 大倉字大原新田	散布地	縄文
38	21056	桧遺跡	青葉区 上愛子字上志田	散布地	縄文
39	21057	芋沢正安碑	青葉区 芋沢字原田下	板碑	鎌倉
40	21058	芋沢嘉元碑	青葉区 芋沢字原田下	板碑	鎌倉
41	21060	大道A遺跡	青葉区 上愛子字大道	散布地	縄文晩・奈良・平安
42	21062	大道B遺跡	青葉区 上愛子字大道	散布地	奈良・平安
43	21063	田中遺跡	青葉区 上愛子字田中	散布地	奈良・平安
44	21064	上十三枚田A遺跡	青葉区 上愛子字上十三枚田	散布地	奈良・平安
45	21065	上十三枚田B遺跡	青葉区 上愛子字上十三枚田	散布地	奈良・平安
46	21066	下大柵遺跡	青葉区 上愛子字下十三枚田	散布地	奈良・平安
47	21068	上北遺跡	青葉区 上愛子字下十三枚田	散布地	奈良・平安
48	21069	中遠野原遺跡	青葉区 上愛子字上北	散布地	奈良・平安
49	21070	大清水遺跡	青葉区 上愛子字下沢口・大清水	散布地	奈良・平安
50	21072	松原A遺跡	青葉区 上愛子字上遠野原	散布地	縄文

表 6.1.5-7(2) 埋蔵文化財包蔵地

No.	遺跡番号	遺跡名	所在地	種別	時代
51	21073	下遠野原遺跡	青葉区 上愛子字下遠野原	散布地	奈良・平安
52	21099	館山城跡	青葉区 新川字中屋敷	城館	中世・近世
53	21100	平賀館跡	青葉区 作並字宿上ノ台	城館	中世
54	21103	原館跡	青葉区 芋沢字原田下	城館	中世
55	21104	寺下館跡	青葉区 芋沢字寺下	城館	中世
56	21105	荒神館跡	青葉区 芋沢字荒神	城館	中世
57	21106	成館跡	青葉区 芋沢字荒屋敷西	城館	中世
58	21107	作並宿御番所跡	青葉区 作並字宿	番所	近世
59	21109	宇那弥神社跡	青葉区 芋沢字明神	神社	近世
60	21113	道半南遺跡	青葉区 上愛子字白沢	散布地	縄文・奈良・平安
61	21114	白沢遺跡	青葉区 上愛子字白沢	散布地	奈良・平安
62	21116	柿崎橋遺跡	青葉区 芋沢字上遠野原	散布地	縄文
63	21117	柿崎遺跡	青葉区 芋沢字柿崎下	散布地	縄文
64	21118	二尺木遺跡	青葉区 芋沢字二尺木	散布地	縄文・奈良・平安
65	21119	青野木D遺跡	青葉区 芋沢字青野木	散布地	縄文
66	21120	青野木E遺跡	青葉区 芋沢字青野木	散布地	縄文中・後
67	21121	青野木F遺跡	青葉区 芋沢字青野木	散布地	縄文
68	21122	青野木G遺跡	青葉区 芋沢字青野木	散布地	縄文中
69	21123	畑前C遺跡	青葉区 芋沢字畑前	散布地	縄文・平安
70	21124	畑前D遺跡	青葉区 芋沢字畑前	散布地	縄文前・中
71	21125	大手門B遺跡	青葉区 大倉字大手門	散布地	縄文中
72	21126	川崎遺跡	青葉区 作並字川崎	散布地	縄文中
73	21127	鎌倉山遺跡	青葉区 作並字鎌倉下原	散布地	縄文前
74	21128	原田遺跡	青葉区 新川字原田	散布地	縄文
75	21131	青野木H遺跡	青葉区 芋沢字青野木	散布地	縄文中
76	21132	蒲沢山遺跡	青葉区 芋沢字蒲沢山	集落	縄文早・前・中・弥生
77	21135	堰ノ沢遺跡	青葉区 大倉字堰の沢	散布地	縄文中
78	21142	町C遺跡	青葉区 熊ヶ根字町	散布地	縄文
79	21143	大手門C遺跡	青葉区 大倉字根地木	散布地	縄文
80	21144	北原街道B遺跡	青葉区 上愛子字北原道上	散布地	縄文前・中
81	21145	相の沢遺跡	青葉区 作並字相の沢	散布地	縄文前
82	16001	菅刈山遺跡	太白区 秋保町長袋字菅刈山	散布地	縄文中・晩
83	16002	折葉遺跡	青葉区 上愛子長袋字折葉	散布地	縄文
84	16003	マンガク山遺跡	太白区 秋保町馬場字滝原	散布地	縄文中・古墳後
85	16004	五輪原遺跡	太白区 秋保町馬場字竹林	散布地	縄文晩・弥生
86	16006	水上南遺跡	太白区 秋保町長袋字水上南	散布地	縄文・古代
87	16007	原遺跡	太白区 秋保町長袋字原	散布地	縄文中～晩
88	16012	山田遺跡	太白区 秋保町境野字山田	散布地	縄文
89	16016	大原遺跡	太白区 秋保町長袋字大原	散布地	縄文晩
90	16017	上ノ原遺跡	太白区 秋保町長袋字上ノ原	散布地	縄文中・古代
91	16018	滝ノ原遺跡	太白区 秋保町馬場字滝原	散布地	縄文中～晩
92	16019	森安遺跡	太白区 秋保町馬場字大楳	散布地	縄文・奈良・平安
93	16020	深野遺跡	太白区 秋保町馬場字深野	散布地	縄文後・晩
94	16021	辺田圃遺跡	太白区 秋保町馬場字辺田	散布地	縄文・奈良・平安
95	16022	土蔵田遺跡	太白区 秋保町馬場字土蔵	散布地	縄文・奈良・平安
96	16023	下ノ久保遺跡	太白区 秋保町馬場字下久保	散布地	縄文
97	16024	賀沢遺跡	太白区 秋保町長袋字賀沢	散布地	縄文・奈良・平安
98	16025	清水久保遺跡	太白区 秋保町長袋字清水久保	散布地	縄文
99	16026	青木遺跡	太白区 秋保町長袋字青木	散布地	縄文
100	16027	町上原遺跡	太白区 秋保町長袋字町上原	散布地	縄文

表 6.1.5-7(3) 埋蔵文化財包蔵地

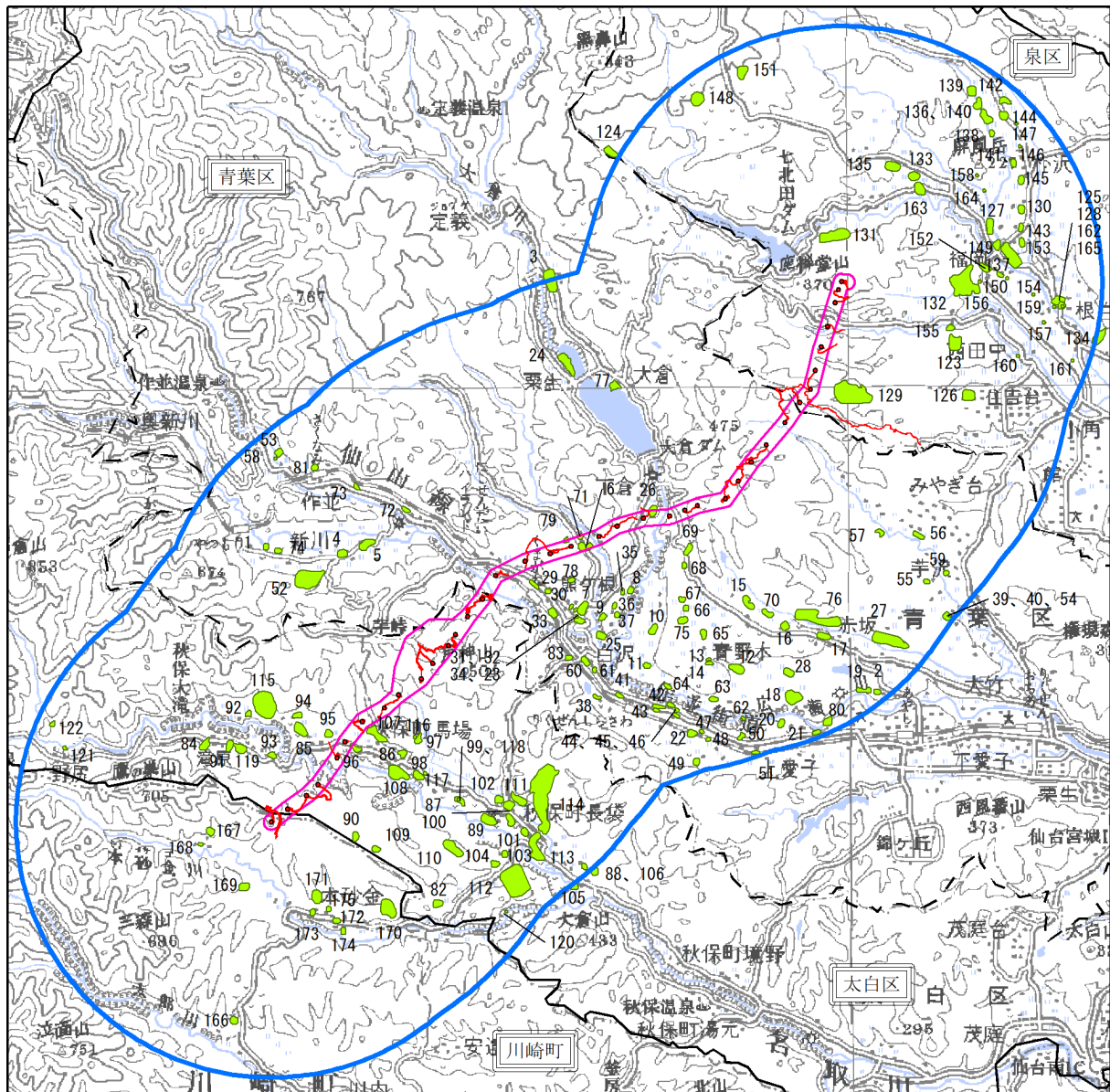
No.	遺跡番号	遺跡名	所在地	種別	時代
101	16028	町南裏遺跡	太白区 秋保町長袋字町南裏	散布地	縄文・奈良・平安
102	16029	並木遺跡	太白区 秋保町長袋字中原ほか	散布地	縄文後・晩
103	16030	竹ノ内遺跡	太白区 秋保町長袋字竹ノ内	散布地	縄文・奈良・平安
104	16031	竹ノ内東遺跡	太白区 秋保町長袋字竹ノ内東	散布地	縄文
105	16032	中原遺跡	太白区 秋保町境野字中原	散布地	縄文前・中・古代
106	16033	野尻遺跡	太白区 秋保町境野字野尻	散布地	縄文後・奈良・平安
107	16037	上館跡	太白区 秋保町馬場字北山	城館	中世
108	16038	豊後館跡	太白区 秋保町馬場字町南	城館	中世
109	16039	向山遺跡	太白区 秋保町長袋字上ノ原	散布地	縄文
110	16040	新庄館跡	太白区 秋保町長袋字台山	城館	中世
111	16041	阿弥陀遺跡	太白区 秋保町長袋字原	散布地	縄文
112	16042	楯山城跡	太白区 秋保町長袋字館山	城館	中世
113	16043	長楯城跡	太白区 秋保町長袋字館	城館	中世・近世
114	16044	境野城跡	太白区 秋保町境野字漆方ほか	城館	中世
115	16051	石ヶ森館跡	太白区 秋保町馬場字石ヶ森	城館	中世
116	16053	賀沢板碑群	太白区 秋保町長袋字賀沢	板碑群	中世
117	16054	清水久保板碑	太白区 秋保町長袋字清水久保	板碑	中世
118	16056	大原一里塚	太白区 秋保町長袋字大原	一里塚	近世
119	16057	滝ノ原B遺跡	太白区 秋保町馬場字滝原	散布地	縄文中・平安
120	16058	国久五輪原宝篋印塔	太白区 秋保町長袋字国久	宝篋印塔	中世
121	16059	野尻番所跡	太白区 秋保町馬場字野尻町北	番所	近世
122	16060	小屋建山遺跡	太白区 秋保町馬場小屋建山	城館	近世
123	19002	花輪山遺跡	泉区 根白石字花輪山	散布地	縄文
124	19003	泉ヶ岳遺跡	泉区 福岡字岳山	散布地	縄文
125	19004	白石城跡	泉区 根白石字館下	城館	中世
126	19006	成田山館遺跡	泉区 住吉台西三・四丁目	散布地・城館	古代・中世
127	19011	山下遺跡	泉区 朴沢字山下	散布地	縄文前
128	19017	館陰遺跡	泉区 根白石字館陰	散布地	縄文中
129	19021	杭城館跡	泉区 西田中字杭城山	城館	中世
130	19023	朴沢新城跡	泉区 朴沢字要害	城館	中・近世
131	19024	下蒜遺跡	泉区 福岡字下蒜	散布地	縄文中～晩
132	19025	福岡館跡	泉区 福岡字城ノ内	城館	中世
133	19027	西上野原遺跡	泉区 福岡字西上野原	散布地	縄文早・前
134	19029	青笹山遺跡	泉区 根白石字青笹山	散布地	旧石器・縄文
135	19030	泥畑遺跡	泉区 福岡字泥畑	散布地	縄文
136	19031	畑中遺跡	泉区 朴沢字畑中・畑中前	散布地	縄文中・後
137	19034	鳥居原遺跡	泉区 朴沢字鳥居原	散布地	縄文
138	19035	西脇西遺跡	泉区 朴沢字西脇西	散布地	縄文
139	19036	高野原A遺跡	泉区 朴沢字高野原	散布地	縄文
140	19037	高野原B遺跡	泉区 朴沢字高野原	散布地	縄文
141	19038	新田遺跡	泉区 朴沢字新田	散布地	縄文
142	19039	西小屋遺跡	泉区 朴沢字西小屋	散布地	縄文
143	19040	南遺跡	泉区 朴沢字南	散布地	縄文
144	19041	壇の原遺跡	泉区 朴沢字壇の原	散布地	縄文
145	19042	中在家遺跡	泉区 朴沢字中在家	散布地	縄文
146	19043	亀ノ子小塚	泉区 朴沢字壇の原	塚	中世・近世
147	19044	壇の原小塚	泉区 朴沢字壇の原	塚	中世・近世
148	19045	芳の平B遺跡	泉区 福岡字岳山	散布地	縄文中
149	19046	上鳥居原遺跡	泉区 朴沢字上鳥居原	集落	縄文中
150	19047	刑部塚	泉区 福岡字中在家	塚	中世

表 6.1.5-7(4) 埋蔵文化財包蔵地

No.	遺跡番号	遺跡名	所在地	種別	時代
151	19059	芳の平A遺跡	泉区 福岡字芳の平	散布地	縄文
152	19065	堰添A遺跡	泉区 福岡字堰添	散布地	縄文
153	19070	原遺跡	泉区 朴沢字原	散布地	縄文
154	19072	堰添B遺跡	泉区 福岡字堰添	散布地	縄文
155	19073	柏坊遺跡	泉区 福岡字柏坊	散布地	縄文
156	19075	慶得庵の碑	泉区 福岡字城ノ内裏	板碑	中世
157	19076	弘安の碑	泉区 根白石字君ヶ代	板碑	鎌倉
158	19080	鷲倉神社板碑(小山板碑A群)	泉区 福岡字小山	板碑	中世
159	19081	東泉板碑群	泉区 福岡字東泉	板碑群	中世
160	19082	柿屋敷板碑	泉区 西田中字柿屋敷	板碑	中世
161	19083	新坂下板碑群	泉区 根白石字新坂下	板碑群	中世
162	19084	館下板碑群	泉区 根白石字館下	板碑群	中世
163	19089	西上野原B遺跡	泉区 福岡字西上野原	散布地	縄文早・前
164	19090	松岩寺板碑(小山板碑B群)	泉区 福岡字小山	板碑群	中世
165	19091	宇佐八幡宮板碑群(館下板碑B群)	泉区 根白石字館下	板碑群	中世
166	9027	太郎川遺跡	川崎町 川内字太郎川	散布地	縄文前・中
167	9032	栃原A遺跡	川崎町 本砂金字栃原	散布地	縄文早・中
168	9033	栃原B遺跡	川崎町 本砂金字栃原	散布地	縄文早・中
169	9045	原遺跡	川崎町 本砂金字原	散布地	縄文
170	9049	本砂金城跡	川崎町 本砂金字宿	城館	中世
171	9050	西館跡	川崎町 本砂金字山崎	城館	中世
172	9051	東城跡	川崎町 本砂金字野中	城館	中世
173	9052	上館跡	川崎町 本砂金字山崎	城館	中世
174	9063	野中遺跡	川崎町 本砂金字野中	散布地	縄文中?
175	9064	山崎遺跡	川崎町 本砂金字山崎	散布地	縄文中

注) No. は図 6.1.5-5の図中番号に対応する。

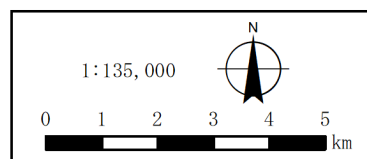
「宮城県遺跡地名表」(宮城県HP、令和3年3月31日現在)より作成



「Web版遺跡地図 宮城県遺跡地図情報」(宮城県HP)
 「宮城県遺跡地名表」(令和3年3月31日現在、宮城県HP)より作成

凡 例

- 事業計画地範囲
- 埋蔵文化財包蔵地
- 土地改変範囲
- 鉄塔予定地
- 概況調査範囲
- 市町境
- - - 区境



注) 図中番号は表 6.1.5-7 のNo.に対応する。

図 6.1.5-5 埋蔵文化財包蔵地位置